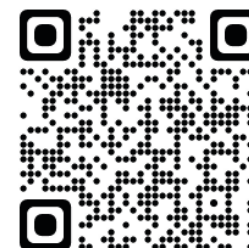


令和7(2025)年度 こどもの意見を聴く取り組み 報告書

意見を聴いたこども・若者の人数 421人 (こども・若者 357人 / 大人 64人)

きょうりよくしてくれた みなさん、ありがとうございました

令和8(2026)年3月 | 茅ヶ崎市



こどもの意見を聴く
取り組み(茅ヶ崎市HP)

目次



1	はじめに	P.1
2	取り組みを行う目的	P.2
3	課題と必要なこと	P.3
4	計画や施策に反映するまでの流れ	P.4
5	取り組みの内容と対象者	P.5
6	手法①～④	P.6
7	いただいた意見の取り扱い	P.10
	(参考)これまでの取り組み令和6(2024)年度末まで	P.11
	[別紙]取り組みごとの報告書	P.12

1.はじめに

茅ヶ崎市では、2025年4月からこども基本法に基づく市町村こども計画となる「こどもまちプロジェクト2025-2029」がスタートしました。この計画は「こども基本法」や「子どもの権利条約」の考え方を大切にし、こどもや若者が、自分たちの権利を自覚して、健やかに成長できるまちを目指しています。また、計画では、次の3つを全ての施策に共通する基本姿勢として位置付けています。

- 1 こどもの権利を保障すること
- 2 こどもの意見を施策に反映すること
- 3 こどもの目線でこども施策を推進すること



この報告書は、多くの方とこどもの意見を共有するとともに、こどもの視点に立って物事を考えるきっかけとしてご活用いただくために作成しました。

こどもたちからいただきましたご意見は、関係する人たちと共有して、これからの市の取り組みに役立てていきます。

この報告書は、市が、「こどもまちプロジェクト2025-2029」に基づき2025年度に行った、こどもの意見を聴く取り組みの結果をまとめたものです。

2. 取り組みを行う目的

大人



こどもや若者の目線で考える

こどもや若者に関する市の取り組みを、大人の視点だけではなく、当事者である“こどもや若者の目線”で考えること。

こども



自分自身の権利を実感

こどもや若者が社会に意見を伝える経験をすることで、自分たちが社会の大切な一員であることを実感できるようになること。



社会全体

こどもや若者の意見を聴くことが、「当たり前」の感覚になること。

3.課題と必要なこと



▲ 解決しないといけない課題

年齢や性格による発言のちがひ、こどもや若者の考えをしっかりと聞き取ること。

★ 必要な取り組み

いつもの生活（園・学校・地域）の中で自然に意見を言える環境づくりと、社会全体の意識が向上するための情報発信など。

4. 計画や施策に反映するまでの流れ

意見聴取

ヒアリング、アンケートなど多様な手法で実施



意見の取り扱い

いろいろな専門の人たちと
“こどもの目線”で何ができるか考える



振り返り・フィードバック

どのように反映されたかを分
かりやすくこども達へ伝える



市の取り組みに反映

聞き取った意見のうち、
可能なものは市の取り組みに反映

5. 取り組みの内容と対象者

No	方法	対象者					
		未就学児	小学生	中学生	高校生世代	高校生世代以上	保護者関係者
1	関係施設などに伺いヒアリング	●	●	●	●	●	●
2	こどもモニター（登録者へのWEBアンケート）		●	●	●	●	
3	アンケート調査（こども食堂利用者など）		●	●	●	●	●
4	その他（意見申請フォーム・総合的な学習の時間）	●	●	●	●	●	

《ご協力いただいた施設や団体等》

① ヒアリング

- ・ 鎌倉女子大学
- ・ 香川保育園
- ・ 浜見平保育園
- ・ ひかりの子幼稚園
- ・ レインボーキッズ
(青少年海外派遣事業)

② こどもモニター

- ・ 市内の小学校、中学校、高等学校
(市立、県立、私立)

③ アンケート

- ・ こどもの居場所づくり事業利用者
- ・ 様々な機会に、こども・若者に実施

④ その他(意見申請フォーム・総合的な学習の時間)

- ・ ホームページ等からの意見申請
- ・ 円蔵中学校3年生による総合的な学習の時間

6.手法①：関係施設などに伺いヒアリング

対話で意見を汲み取る

市職員が直接施設(保育園・学校等)へ伺い、ヒアリング形式で意見を聴き取ります。

特徴： 表情や身振りから細やかな感情を読み取ることができる。

意見の内容を掘り下げることができる。

発言が苦手な子も絵や遊びで参加できる。

実績： 未就学児～大学生まで幅広く訪問。

課題： 初対面のこどもからどこまで意見を引き出すことができるのか。職員が聴く力を伸ばすこと。



6.手法②：こどもモニター（登録者へのWEBアンケート）

匿名性を担保して意見を聴く

事前に登録したこどもに、WEBのアンケートを配信しています。
匿名で保護者などに見られることなく回答できます。

特徴：好きな場所や好きな時間に回答できる。

匿名(自分の名前を書かずに)で回答できる。

回答を他人に見られないため本音を引き出しやすい。

内容：こどもに関係する市の計画の策定や改定をテーマに実施。

課題：回答内容を掘り下げることが難しい。

第3回 茅ヶ崎市
こどもモニター
ご協力をお願いします

こども・若者の声を
市の取組に反映！

茅ヶ崎をもっとよくするために
みなさんの意見をきかせてください！

こどもモニターとして、メールアドレスを
登録してくれた人には、えぼし麻呂から
写真付きのお礼のメールがとどくよ！

❀ 期 限 2025.12.7（日）まで
❀ 対 象 小学4年生～高校生世代

❀ アンケート内容
普段の生活や家族との関わりなど
について、あなたが感じている
ことなどを教えてください。
茅ヶ崎市教育基本計画の見直し
の参考にします。

回答はこちらから↓

❀ 茅ヶ崎市 こども政策課 tel.0467-81-7168 ❀

6.手法③：アンケート調査（こどもの居場所づくり利用者など）

学校や自宅以外の居場所で意見を聴く

こどもの居場所づくり事業（こども食堂・フリースクールなど）を利用しているこどもへのアンケート調査を行いました。そのほか、他事業で大学生などと会うときに、普段の生活に関するアンケート調査を行いました。

特徴： 学校や自宅以外の居場所として参加しているこどもや、学校に通っていないこどもから意見を聴くことができる。

内容： こどもたちが利用している居場所をテーマに実施。

課題： 回答内容を掘り下げることが難しい。



6.手法④：その他(意見申請フォーム、総合的な学習の時間など)

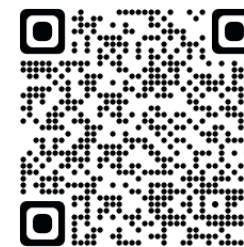
いろいろな方法で意見を集める

こどもたちが、いつでも、どこからでも、だれでも、自由に自分の意見を言うことができるように、意見申請フォームを設置しました。小・中学校の総合的な学習の時間と連携し、市の取り組みを伝えながら意見を聴く取り組みを行っています。

- 特徴：** こどもがいつでも意見を言うことができる場をつくる。
学校と連携し、市の取り組みを広めるきっかけをつくる。
- 内容：** いろいろな意見を聴けるように申請フォームのテーマは「私が市長になったらやりたいこと」に設定。

課題： この取り組みを知っている人が少ない。

私が市長
になったら
やりたいこと



意見申請フォーム

7.いただいた意見の取り扱い



① 関係会議へ報告

こどもに関わる取り組みをしている人が集まる会議で、みんなの意見を伝えます。「こどもの意見を聴くこと」の大切さを、多くの人に知ってもらいます。



② 関係課へ報告

市役所の関係課の人たちに、皆さんからいただいた意見を伝えます。こどもの目線に立って取り組みを行うことを、関係課の人たちにも伝えます。



③ HPやSNSで発信

ホームページやSNSで「こんな意見があったよ」と紹介します。皆さんへの結果報告としても活用しながら、こどもの意見を聴く取り組みを広めていきます。

これらの活動を通じて、こんな未来を目指しています



こどもの意見を
市の取り組みに反映

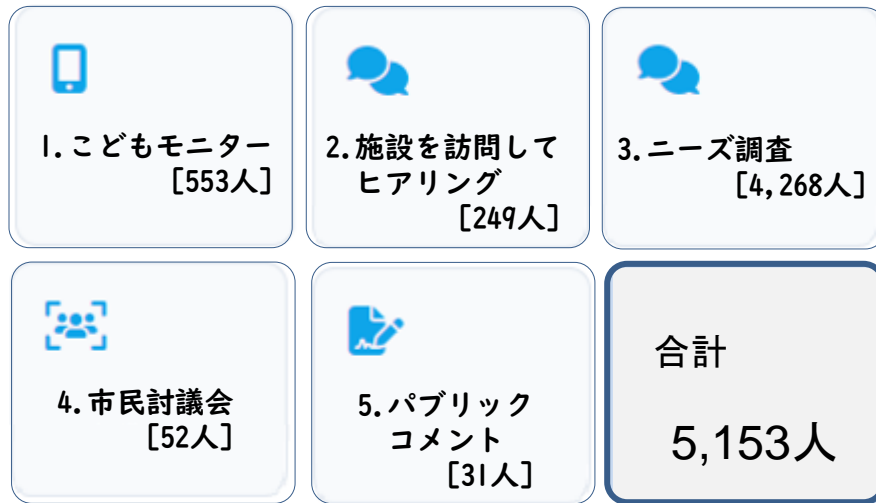
こどもの目線に立った
取り組みにつなげる

自分たちの意見がどうなったか
協力してれた皆さんに伝える

こどもの意見を聴く
ことの大切さを広る

(参考) これまでの取り組み [令和6(2024)年度末まで]

「こどもまちプロジェクト2025-2029」策定に向けて、次の取り組みを行い、計画に反映しました。



① こどもまんなかまちづくり
(P75)

②③ インクルーシブ公園の整備など誰もが楽しむことができる環境の整備
(P77)

④ 絵本や図書が身近にある環境に向けての取組促進
(P77)

⑤⑥ あらゆる権利侵害からの保護と救済
(P78)

- ① 暗い場所や大きな音が鳴る場所がこわい
- ② インクルーシブぶらんこがある公園が欲しい
- ③ ボールで遊べる公園が欲しい
- ④ 学校の近くに図書館が欲しい (開館時間も延ばしてほしい)
- ⑤ 信頼できる人が身近にいない
- ⑥ やりたいことはあるが適切な進学先が身近にない など

[別紙] 取り組みごとの報告書



ここからは、これまでに行ったひとつひとつの取り組みの報告を紹介します。

どのような取り組みを行い、どのような意見が出たのか次のページからご覧ください。





茅ヶ崎市
第3回 こどもモニター
アンケート結果 報告書

《実施期間》 2025.11.17～12.7

小学生

51人

小学4～6年生

中高生

76人

中学生 57人
高校生 19人

合計

127人

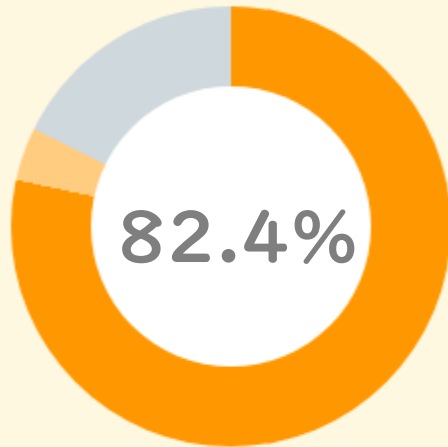


幅広い世代の方に
回答をいただいたぞよ！

Q1

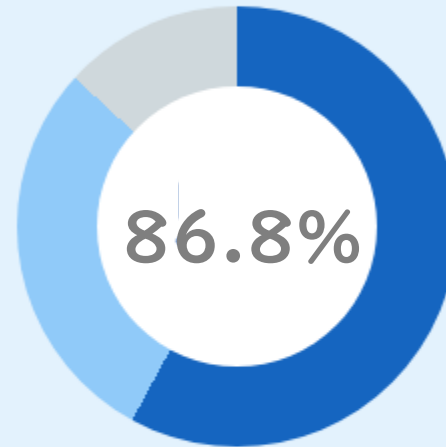
毎日の生活は楽しいですか？

① 小学生



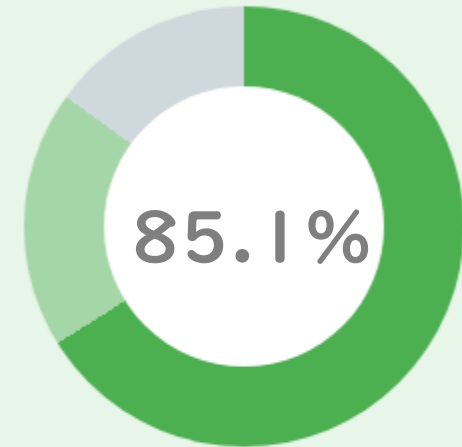
そう思う：78.4%
どちらかというと思う：3.9%

② 中高生



そう思う：57.9%
どちらかというと思う：28.9%

③ 全体



全世代80%以上の方が
毎日楽しいと回答したぞよ！

毎日の生活が楽しい理由は？（トップ3）

① 小学生

- 1 友だちといると楽しい
- 2 家族といると楽しい
- 3 やりたいことができている

友だちといると楽しい	39人
家族といると楽しい	38人
好きなことができている	32人
自分の時間がある	26人
習い事に満足している	26人
勉強が楽しい	14人
特に理由はないが楽しい	11人
成績やテストの結果に満足している	10人
SNSやネットの交流が楽しい	6人

《その他》
ご飯を食べているから

② 中高生

- 1 友だちといると楽しい
- 2 好きなこと（趣味）ができている
- 3 自分の時間がある

友だちといると楽しい	57人
好きなこと（趣味）ができている	50人
自分の時間がある	49人
家族といると楽しい	42人
勉強や部活動が充実している	37人
SNSやネットの交流が楽しい	25人
勉強が楽しい	15人
勉強や部活動の成績に満足	13人
特に理由はないが楽しい	3人

③ 全体



全世代、トップは「友だち」
年代が上がると「家族」から
「趣味/自分の時間」に変わります。



全世代、トップは「友だち」
年代が上がると「家族」から「趣味」
「自分の時間」に変わるぞよ！

毎日の生活が楽しくない理由は？

① 小学生

回答件数は少ないですが、
次のような回答がありました

学校がつらい	3件
楽しいと感じることがない	2件
友だちや先生との関係、 勉強、健康面、わからない	1件

② 中高生

回答件数は少ないですが、
次のような回答がありました

時間が足りない	4件
友だち関係、健康や体調、 楽しいと感じることがない	3件

③ 全体

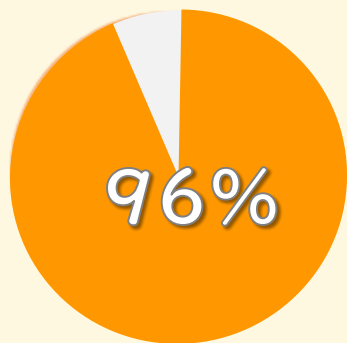
回答件数は少ないですが、
次のような回答がありました



回答数が少なく、傾向の把握は
難しいですが、悩み事は多様で
個人差が大きいことが伺えます。

困ったときに頼れる人はいますか？

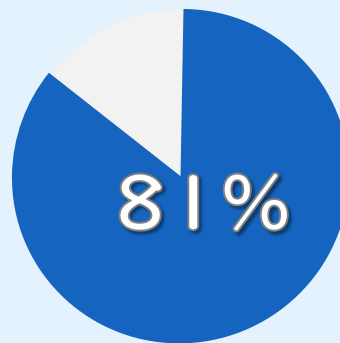
① 小学生



いる

2人以上いる	48人
1人いる	1人
いない	0人
わからない	2人

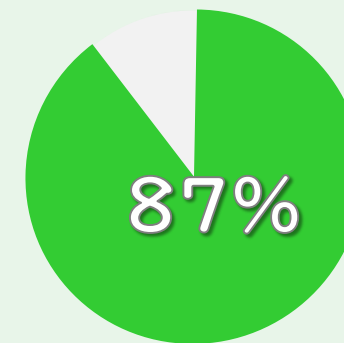
② 中高生



いる

たくさんいる	27人
いる	35人
あまりいない	7人
まったくいない	2人
わからない	5人

③ 全体



いる



「いない」「わからない」と回答した方が少数ながら一定数います。市はこのような方を減らすための取り組みを引き続き行います。

困ったとき、誰に相談しますか？（トップ3）

① 小学生

- 1 家族 (88%)
- 2 友だち (55%)
- 3 学校の先生 (33%)

家族	45人
友だち	28人
先生	17人
親や兄弟姉妹以外の家族	8人
相談員・カウンセラー	6人
塾や習い事の先生	5人
病院の先生	2人
相談の仕方が分からない	2人

《その他の回答》

地域の大人、SNSやネットの知り合い、
相談できる人がいない

② 中高生

- 1 家族 (78%)
- 2 友だち (61%)
- 3 学校の先生 (40%)

家族	59人
友だち	46人
先生	30人
習い事や塾の先生	13人
親や兄弟姉妹以外の家族	10人
相談員・カウンセラー	5人
SNSやネットの知り合い	4人
病院の先生	3人
相談の仕方が分からない	2人
相談はしない	1人

③ 全体

- 1 家族
- 2 友だち
- 3 学校の先生



世代を問わず、
「家族」「友達」「先生」
に相談する方が多いぞよ！

今、困っていることや不安なことは？

① 小学生

勉強 31%

友だち関係 22%

進路・将来 20%

勉強	16人
友だちとの関係	11人
進路・将来	10人
お金のこと	4人
学校の先生との関係	3人
SNSやネットトラブル	2人
自分の病気や障がい	2人
家族の病気や障がい	2人
家の生活の問題	2人
家族との関係	1人
※ 特になし	16人

《その他》

父親が不真面目で、僕らをみない。小出暫定グラウンドのトイレが汚くて、トイレを我慢している

② 中高生

勉強 63%

進路・仕事 60%

友だち関係 24%

勉強	48人
進路・仕事	45人
友だちとの関係	18人
家族の病気や障がい	11人
家の生活の問題	10人
家族との関係	10人
学校の部活動のこと	9人
自分の病気や障がい	7人
経済的な不安	4人
SNSやネットトラブル	1人
学校の先生との関係	3人
※ 特になし	9人

《その他》

野球のコーチ、学校の行事の少なさ、試験範囲紙配布希望、勉強する場所がない、世界情勢が深刻なこと

③ 全体



全ての世代で「勉強」「進路」「友達との関係」が上位となりました。



年代が上がると、困っていることや不安なことを抱える方が増えていくぞよ・・・

① 小学生

- 1 今のままで十分
- 2 早く帰ってきて
- 3 一緒に食事したい

今のままで十分	23人
仕事から早く帰ってきてほしい	14人
一緒に食事したい	9人
特に必要ない	9人
話をする時間をつくる	8人
仕事の休みを多くする	7人
休日に旅行や遊びに行く	7人
学校行事やイベントに参加する	3人

② 中高生

- 1 特に必要ない
- 1 休日に出かけ
- 2 今のままで十分

特に必要ない	20人
休日に出かけ	20人
今のままで十分	19人
話す時間を増やす	11人
仕事から早く帰ってくる	10人
一緒に食事をする	8人
仕事の休みを多くする	8人
学校行事やイベントに参加する	6人
わからない	6人

③ 全体



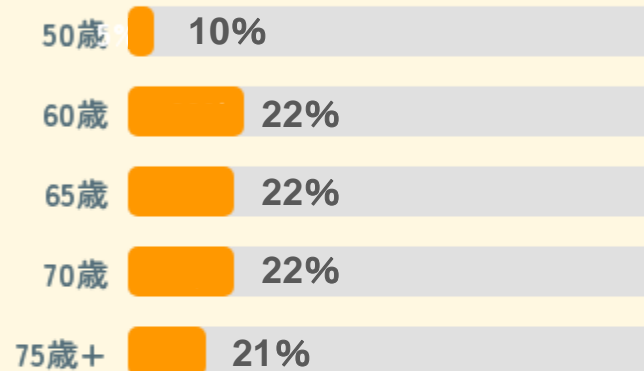
年代が上がるにつれて、家族に求めることが少なくなる結果となりました。



多くの方が家族との距離感に満足しているぞよ！

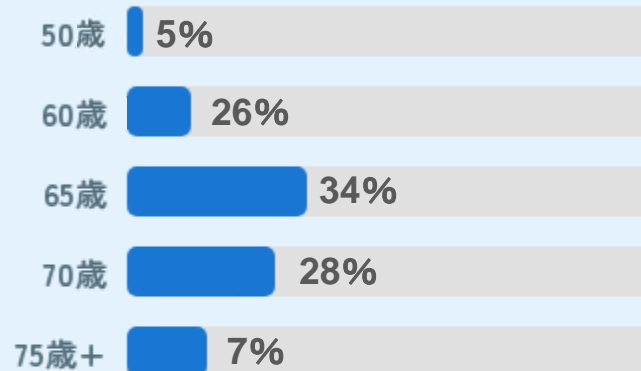
「高齢者」は何歳からだと思いますか？

① 小学生



小学生は、60歳代から70歳代まで分散しています。

② 中高生



中高生は、65歳が一番多く、次に70歳が多い結果となりました。

③ 全体

65歳

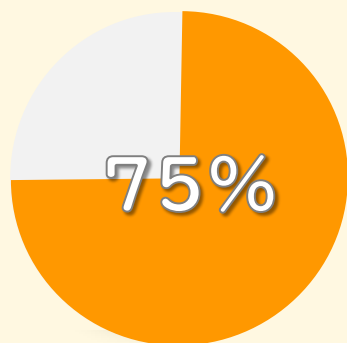
最も多かった回答



65歳以降を高齢者と考える方が多かったぞよ！

あなたの周りには「元気な高齢者」が多いですか？

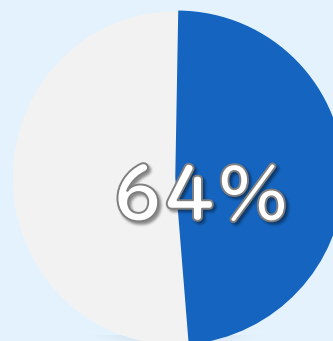
① 小学生



多い

小学生は、元気な高齢者が多い印象を持っている結果となりました。

② 中高生



多い

中高生は、小学生に比べて約10%低下しました。

③ 全体



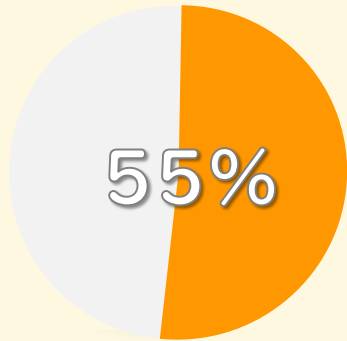
小学生と中高生の回答の差は、高齢者と感じる年齢の違いからきている可能性が考えられます。



全体でも約69%の方が「元気な高齢者が多い」と感じているぞよ！

「地域で活躍している高齢者」は多いですか？

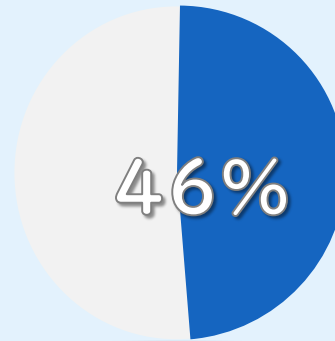
① 小学生



多い

半数以上の方が、地域で活躍している高齢者は多いと感じています。

② 中高生



多い

中高生は、小学生に比べて約10%低下しました。

③ 全体



小学生と中高生の回答の差は、Q8と同じ可能性が考えられます。



全体では、約50%の方が「地域で活躍している高齢者が多い」と感じているぞよ！

① 小学生

1 見守り活動

2 居場所づくり

3 特にない

見守り活動	20人
居場所づくり	17人
特にない	14人
スポーツや遊びの相手	12人
親が不在時に一緒にいる	8人
こども会の活動	6人
思いつかない	5人

《その他》

コミセンの様な所やサッカーができる公園が松林地区にほしい、いつもやってくれている

② 中高生

1 特にない

2 居場所づくり

3 見守り活動

特にない	21人
居場所づくり	19人
見守り活動	17人
思いつかない	17人
スポーツや遊びの相手	9人
相談相手	9人
親が不在時に一緒にいる	6人
こども会の活動	0人

《その他》

タバコを控える、ボール遊びできる公園、他愛もない話、挨拶、障害者への配慮、知らない人はいやです

③ 全体



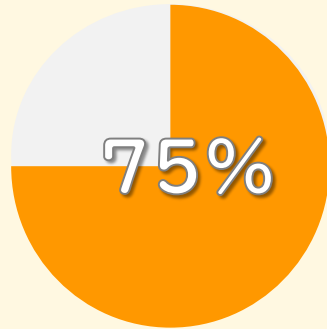
小学生は、「見守り」や「居場所づくり」など、生命・身体の安全や精神的な安定を求める回答が上位となりました。中高生になると「特にない」の割合が高くなります。生徒が徐々に自立していくことや、中高生が求めることと地域で支援できる内容が合っていないことが考えられます。



全ての世代で、上位の回答は「見守り活動、居場所づくり、特にない」で、同じだったぞよ！

地域や社会にどのくらい関心がありますか？

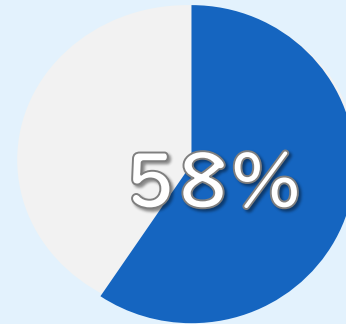
① 小学生



「ある」「とてもある」
の合計

多くの方が社会に関心があるという
回答をしてくださいました。

② 中高生



「ある」「とてもある」
の合計

半数以上の方が社会に関心があると
回答をしてくださいましたが、小学生より
低下しています。

③ 全体



中学生は、Q2-2で「時間が足りない」が多かったことから、社会のことにまで関心の目が向かない現状がある可能性も考えられます。



こどもたちが
社会に関心を持ってくれるよう
茅ヶ崎市は頑張るぞよ！

① 小学生

1 食べ物イベント

2 地域イベント

3 スポーツイベント

食べ物イベント	20人
地域イベント	17人
スポーツイベント	16人
ボランティア活動	14人
防災や地域安全活動	12人
高齢者やこどもへの支援	8人
まちづくり活動	8人
特にない	7人

《その他》

今もやっている これからもやりたい、
ゴミ拾い、動物ふれあい、無料の食べ物イベント、イベント

② 中高生

1 食べ物イベント

2 スポーツイベント

3 特にない

食べ物イベント	33人
スポーツイベント	31人
特にない	18人
地域イベント	17人
ボランティア活動	15人
まちづくり活動	7人
高齢者やこどもへの支援	5人
防災や地域安全活動	5人

《その他》

興味無いです、環境保護に繋がること、
音楽系のイベント、推し活、JLCにて参加活動中、地元の芸能人が来る

③ 全体



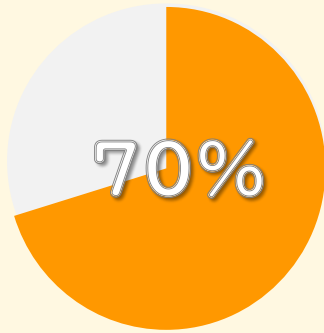
全世代「食べ物」「スポーツ」「地域イベント」が人気でした。
また、Q10と同様、中高生になると「特にない」の回答の割合も高くなります。



全ての世代で、上位の回答は
同じ項目だったぞよ！

自分の参加で、社会をよくできると思いますか？

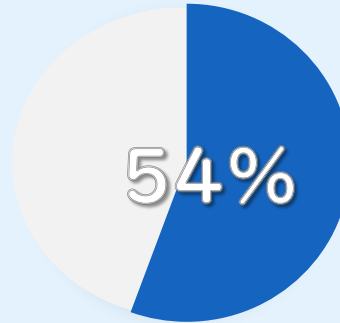
① 小学生



そう思う

多くの方が自分の参加で、社会をよくできる回答をしてくださいました。

② 中高生



そう思う

半数以上の方が多くの方が自分の参加で、社会をよくできる回答をしてくださいましたが、小学生より低下しています。

③ 全体



Q11「社会への関心度」に近い回答結果になりました。様々な要因が考えられますが、成長とともに社会の複雑さを知ることによって個人の力の大きさに対する認識が変化している可能性が考えられます。



こどもたちが
自分の力に期待できるよう
みんなで頑張るぞよ！

結果のまとめ

こどもたちの「声」から見えてきたこと

😊 日々の充実と不安

多くのこどもが毎日を楽しみ過ごしている一方、人間関係や将来への漠然とした不安も抱えています。

👨‍👩‍👧 人とのつながり

全世代共通で、家族や友人への信頼は厚いです。地域の大人には、「見守り活動」や「居場所づくり」を求める声が多く寄せられました。

🌱 社会参加への意欲

半数以上のこどもが、地域社会に関心を持ち、自分が社会を良くしたいという意欲を持っていますが、成長とともにその割合は減少します。



実施日 2025年 7月 18日(金)

施設名	鎌倉女子大学		
対象者	大学生	参加者	こども・若者 6名 教授 1名

意見を聴いた相手

鎌倉女子大学で教育や保育を学ぶ、市外在住の大学3年生の皆さんにご協力いただき、お話を伺いました。

日ごろ感じていることについて率直なご意見をいただきました。

進め方



結婚やこどもを生き育てることへの考え方や不安などについて、ヒアリングを行いました。



ヒアリングの前に、アイスブレイクを兼ねて「情報発信」と「こどもが幸せに過ごすことができる保育施設」をテーマにグループワークを行いました。

《当日の流れ》

- ・趣旨説明
- ・アイスブレイク（情報発信・こどもが幸せに過ごせる保育施設）
- ・ヒアリング（就職、結婚、子育てなど）
- ・振り返り



将来のビジョン（就職・出産・子育て等）について

- ・せっかく保育士の資格を取るのであれば3年くらい働いてから、結婚して子育てに専念したい。こどもの人数は2人くらいが理想。こどもと向き合いたいので、こどもが小学校に入学するくらいまで仕事はお休みしたい。
- ・幼稚園教諭を目指している。20代後半に結婚、出産をして、一定期間、育休を取り、その後また復帰したい。こどもは2人が理想的。子育てが続くことは大変そうなので、3人目を生む場合は少し間隔をあげたい。
- ・将来的に幼稚園と保育園の両方で働きたい。大学を卒業して、22歳で結婚して若いうちから子育てをしたい。私立より公立の方が、産休・育休制度が充実しているイメージがあるので、公立の幼稚園と保育園で働きたい。
- ・26歳くらいで結婚して育休を取り、子育てが落ち着いた後、また働きたい。
- ・就職先は、保育園か幼稚園で迷っている。子育てに関しては、虐待のことなどを勉強していると様々な不安なイメージが頭をよぎる。また、子育て自体にも大変そうなイメージがあるので漠然として不安感がある。
- ・保育士を目指している。将来、こどもは複数人ほしいと思うが、自分が大学まで通わせてもらっていることを考えると、自分のこども3人を大学に通わせることができるかという不安がある。
- ・子育てのことを考えると、大金持ちとまではいなくても、ある程度のお金がないと生活が厳しくなると思う。自分の中では、この程度は稼ぎたいという基準はあるが金銭面での不安はある。保育士は給料が安いという理由で、保育士を目指すことをやめた友達もいる。
- ・自分自身が将来のことを全然考えていないことが不安。結婚や出産はしたいという気持ちはあるが、子育てに関して不安もあるので、様々な支援が充実していると漠然とした不安感も少し和らぐと思う。
- ・実家が沖縄で親が近くにいない。2人以上こどもを育てることを考えると、同時にこどもが泣き出したときに頼る人がいないことなど不安が大きい。誰かが近くに人がいてくれるだけでもありがたいと思う。シングルマザーもいると思うから負担が減るような制度があると良い。





結婚について感じていること

- ・結婚してこどもは欲しいけど、男の人と一緒に暮らす想像はできない。
- ・結婚に対しイメージできないが、幸せそうな印象があっていいと思う。
- ・両親や祖父母が今でも仲良しだから結婚は憧れる。地元の沖縄では結婚したいと言っている人が多い。
- ・男の人と住むことや結婚することは想像できるが、男は浮気する印象があるので不安。
- ・結婚したい気持ちはあるけど、男性と一緒に住む想像がつかない。他人が自分の空間に入ってくることが嫌なので、結婚しても一緒に住みたいと思わない。仮に一緒に住むとしても自分の部屋が欲しい。
- ・現在も実家に住んでおり1人暮らしをしたことがないので実感がわからない。
- ・男性が何を結婚の判断基準にしているのか分からない。



こどもたちが住みやすいと思うまちについて

- ・公園など遊ぶところがたくさんあることが理想。公園があってもボールの使用が禁止されているところも多いので、こどもたちがやりたい遊びを自由にできる環境があると良い。
- ・都市部は建物が多く遊ぶことができる施設が少ないので、のびのびと遊べる空間があると良い。
- ・現在マンションに住んでいて敷地内に公園はあるが、騒音などですぐ苦情が入り、みんなが遊ばなくなってしまうので、周りを気にせず遊べる場所がほしい。
- ・まちにごみが散乱しているような環境だと、こどもの成長にも影響すると思うので、綺麗なまちでこどもが育ってほしい。
- ・地域でこどもを育てることが理想的だと考えている。公民館などこどもたちが集まる場所があり、地域の人たちとの関りを持ちながら成長できる環境があると嬉しい。



アイスブレイクでいただいた意見



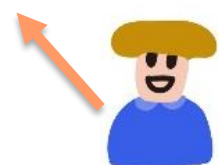
若者に伝わりやすい情報発信

- ・TikTokなどのSNSで、最初にインパクトがあるワードを出し、短い動画を発信できれば多くの人が見ると思う。
- ・リール投稿は見る人が多いので、インスタのリール投稿を載せることも効果的だと思う。
- ・SNSの広告は、最初のインパクトが大事。5秒くらいで文が付いているものが良い。最長でも30秒程度にした方が良い。
- ・字が多いと見る気がなくなってしまうので、写真や画像をうまく織り交ぜると見てもらえると思う。
- ・最近、BeReal(ビーリアル)も人気が出てきている。

こどもが幸せに過ごせる保育施設

- ・こどもが求めるもの、やってみたいことをやらせてあげる自由さがある施設が理想的。
- ・勉強など詰め込みすぎず、こどものやりたいことを尊重する方針が浸透している施設が良いと思う。
- ・保育士配置基準が改正されたが、25人でも大変だと思うので、1人がみる人数を少なくして、1人1人に目が行き届く環境になると良いと思う。
- ・保育士の給与が低い印象がある。人材の確保が難しくなると、理想とする保育方針があったとしても実現が難しくなってしまうので改善されると良いと思う。
- ・身近に思い切り遊べる公園があるなど、自然環境に恵まれている施設。
- ・安全に対する配慮がなされている施設。

いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



実施日 2025年 11月 11日(火)

施設名	香川保育園		
対象者	未就学児	参加者	こども・若者 20名 先生 2名

意見を聴いた相手

香川保育園に通う児童（年長）のみなさんからお話を聴きました。

進め方



本日の取り組みの目的や実施事項、市役所がどのようなことをしているか、現在、市がこどもの意見を聴く取り組みを推進していることなどを簡単に説明しました。



班に分かれて、「好きな場所」や「こんな世界になったらいいな」などのテーマで絵を描いてもらいながら、職員が絵の理由等について、ヒアリングを行いました。

「自分が描いた絵をみんなに伝える時間」と「みんなが描いた絵を知る時間」として、自分が描いた絵をみんなに見せながら、何を描いたのか、なぜその絵を描いたのか等を発表しました。



《当日の流れ》

- ・趣旨説明
- ・絵を描く&ヒアリング
- ・発表
- ・振り返り

ヒアリングの内容



あなたが好きな場所

- ・トンネルがあって遊べる公園。大きな穴があって穴の中でも遊べるから好き。
- ・たくさん揺れるブランコが好き。
- ・海と船が好き。雷にも強い船がたくさんあって、サメや赤ちゃんサメがたくさん泳いでいるような綺麗な海が好き。
- ・家族で誕生日を祝える家。テレビにはお花畑が映っている。
- ・家(虹が見えるから好き)。
- ・あそびマーレ(ユーフオーキャッチャー、空気の滑り台があって楽しいから好き)。



- ・お月様が見えるイルミネーションが好き。
- ・お花畑(ちょうちょや沢山のお花が咲いていて好き)。
- ・宇宙が好き。(ロケットが好きだから)。
- ・かきのき公園(滑り台、ぶらんこがあってよく行く)。



こんな世界になったらいいな

- ・地球をかわいくしたい。男子もドレスを着る世界。
- ・たぬきのいる公園があったらいいな。
- ・家のドアを開けたらららぽーと♡
- ・海の上に家を建てて、魚を釣って生活したい。
- ・カッコいいと思えるものがたくさんあるまちになってほしい。レーシングカーがたくさん走っている街に住みたい。
- ・たくさん遊具がある公園(すべり台、ぶらんこ、鉄棒、砂場)
- ・イカと一緒にマントを付けて飛んでいる人がいる世界。





子育て支援センターをワクワクする場所にしよう

- ・図書館で借りた本を香川駅前出張所で返すことができるので便利。
- ・イオンは、クレーンゲームやマリオカートができるから嬉しい。
- ・病院で待つ時間が苦痛。
- ・遊ぶ時間が無くなるので、習い事にいきたくない。
- ・家のお手伝いがめんどくさい。
- ・自分の家では朝起きた瞬間ゲームをする。

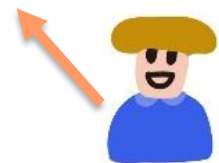


その他

- ・図書館で借りた本を香川駅前出張所で返すことができるので便利。
- ・イオンは、クレーンゲームやマリオカートができるから嬉しい。
- ・病院で待つ時間が苦痛。
- ・遊ぶ時間が無くなるので、習い事にいきたくない。
- ・家のお手伝いがめんどくさい。
- ・自分の家では朝起きた瞬間ゲームをする。



いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



実施日 2025年 11月 18日(火)

施設名	浜見平保育園		
対象者	未就学児	参加者	こども・若者 28名 先生 2名

意見を聴いた相手

浜見平保育園に通う児童（年長）のみなさんからお話を聴きました。

進め方



本日の取り組みの目的や実施事項、市役所がどのようなことをしているか、現在、市がこどもの意見を聴く取り組みを推進していることなどを簡単に説明しました。



班に分かれて、「好きな場所」や「こんな世界になったらいいな」などのテーマで絵を描いてもらいながら、職員が絵の理由等について、ヒアリングを行いました。

「自分が描いた絵をみんなに伝える時間」と「みんなが描いた絵を知る時間」として、自分が描いた絵をみんなに見せながら、何を描いたのか、なぜその絵を描いたのか等を発表しました。



《当日の流れ》

- ・趣旨説明
- ・絵を描く&ヒアリング
- ・発表
- ・振り返り

ヒアリングの内容



あなたが好きな場所

《市内にある場所》

- ・ 家
- ・ 茅ヶ崎の海が好き
- ・ 赤い滑り台がある公園
- ・ ボールプールがある室内の遊び場
- ・ 家の横のホテルに泊まりたい
- ・ 山があるといいな



- ・ 家族で行ったピクニックで花がきれいだった
- ・ スポーツ公園が好き
- ・ 子どもの家が好き
- ・ かき氷屋さんが近くにあるといい
- ・ アイスクリーム屋さんもすき
- ・ お祭りが好き
- ・ マクドナルドが好き

《市内にない場所》

- ・ ディズニーランド・シー、USJ、遊園地
- ・ ディズニーランドのアリエルの世界
- ・ 遊園地は好きだけど、ジェットコースターに乗せられるから行きたくない
- ・ ジェットコースター
- ・ サンリオのシナモロール、クロミちゃんが好き
- ・ いろいろな色のボールがたくさんある場所が好き



- ・空港が好き。(茅ヶ崎にもあるといいな)
- ・テレビで見たハワイが好き
- ・茅ヶ崎にもハワイアンズがほしい
- ・宇宙
- ・秘密基地
- ・ゲームがたくさんできるところ
- ・アニメが大好き



こんな世界になったらいいな

《いまの技術でできること》

- ・公園にたくさん遊具（ぶらんこ、滑り台、鉄棒）があるといいな
- ・横浜みたいになるといいな
- ・水族館が茅ヶ崎にもほしい
- ・飛行機の値段が安くなってほしい
- ・海の公園があったらいいな
- ・流れるプールもあったらいいな
- ・プールと海が繋がったらいいな
- ・イルミネーションがたくさんあるまち
- ・まちに迷路があると楽しいな



《未来の技術でできるかもしれないこと》

- ・レモン星人（敵）がいるところ
- ・化け物が出て、隕石で攻撃してくる・・・
- ・海にお化け（好き）がいっぱいのまち
- ・幽霊と仲良くなれるまちに住みたい



子育て支援センターをワクワクする場所にしよう

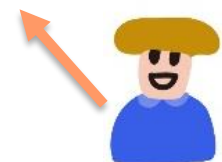
- ・透明なピカチュウが入口にいるようにする
- ・壁にカラフルな絵を描きたい
- ・看板にお花を描きたい
- ・窓と看板に、植物を描く
- ・入り口がピカピカ光るようになったらいいな
- ・カラフルだといいな
- ・お花が咲いているといいな



その他

- ・クリスマスが毎日の世界が良い
- ・飼っているハムスターには名前がない、犬には名前がある

いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



実施日 2025年 12月 25日(木)

対象者	レインボーキッズ		
区分	小学生・中学生・高校生	参加者	こども・若者 4名

意見を聴いた相手

レインボーキッズのみなさんからお話を聴きました。

※ レインボーキッズとは、茅ヶ崎市青少年海外派遣事業の総称です。

進め方



本日の取り組みの目的や実施事項、市役所がどのようなことをしているか、現在、市がこどもの意見を聴く取り組みを推進していることなどを簡単に説明した後、ヒアリングを実施しました。



《当日の流れ》

- ・趣旨説明
- ・ヒアリング
 - 第1部 レインボーキッズの活動に関すること
 - 第2部 日常生活に関すること
- ・振り返り
- ・アンケート、写真撮影



第1部 レインボーキッズの活動に関すること

《印象に残っていること》

- ・茅ヶ崎とホノルルの分か比較（祭り、海、シンボル（茅ヶ崎のえぼし岩とホノルルのチャイナマンズハット）などが印象的
- ・コロナで渡航できなかったが、ホノルル市長からのビデオメッセージが励みになった
- ・茅ヶ崎とホノルルは、サーファー、フラダンス、イベント内容など文化的な共通点が多い印象



《活動を通して感じたホノルルの魅力》

- ・自然（緑・海）が多く、大切にされている印象
- ・砂浜がキレイ！ ごみが少ない
- ・まち全体がカラフルでおしゃれだが、景観が自然になじんでいる
- ・現地の人々が明るく、知らない人とも気軽に挨拶や交流ができる

《茅ヶ崎にも取り入れたいと感じたこと》

- ・海岸の環境を守るための継続的な清掃や整備
- ・カラフルで遊び心があるまちづくり
- ・誰でも参加できるビーチ環境を守る仕組み
- ・音楽、芸術、文化イベントを気軽に楽しむことができる環境づくり
- ・茅ヶ崎らしさ（海、松林、富士山が見える景観、音楽）を生かしたまちづくり



《海外の人に紹介したい茅ヶ崎の魅力》

- ・ 海岸清掃など地域住民による環境保全活動
- ・ 古民家、歴史的建造物（和田家など）
- ・ 氷室椿庭園（季節の花、日本文化を感じられる）



- ・ アニメ、マンガの舞台となるロケーションは多いと思うので、取り上げてもらい聖地にする
- ・ 海と富士山を同時に見ることができる景観

《茅ヶ崎の改善点、課題》

- ・ 茅ヶ崎らしいお土産が少ない、有名なお土産がない（和菓子など「茅ヶ崎の顔」になる名物がほしい。学生からアイデアをつくるのも良い）
- ・ 観光客やこどもが楽しめる“茅ヶ崎ならではの”施設が少ない
- ・ 海岸にごみが多い（ガラスなど危険なものもよく見かける）
- ・ 姉妹都市（ホノルル）との関係を、市民があまり知らない



第2部 日常生活について

《困りごと・課題に感じていること》

- ・ 夜道が暗く、不安を感じることもある
- ・ 公園のルールが多く、ボール遊びがしづらい
- ・ 自転車での移動時に危険だと感じる場所がある
- ・ 年代によって使える場所が分かれてしまっている印象
- ・ 意見を聴いて終わりになってしまっていないかという不安がある
- ・ 商業施設以外で、屋内で安心して過ごすことができる場所がもっとほしい
- ・ こどもの意見を聴く機会はあるが、その後、どう生かされたのか分かりにくい



《日常生活で感じている「良い点」》

- ・海や公園など、自然が身近にある
- ・海岸清掃や地域活動を通して、地域と関わる機会がある
- ・放課後や休日、友人と気軽に集まれる商業施設などがある
- ・地域の人が挨拶をしてくれるなど、人との距離が近く安心感がある



《あったらいいと思う取り組み、場所》

- ・年代を問わず使える屋内の居場所（勉強・交流・休憩）
- ・こどもが自由に意見を出せる場
- ・市の取り組みについて、こどもにも分かりやすい情報発信
- ・学校外でも参加できるボランティアやイベントの情報共有

《将来の茅ヶ崎に期待すること》

- ・こどもも大人も意見を言いやすい雰囲気のみち
- ・こどもが「ここに住み続けたい」と思える環境整備
- ・自然や地域の良さを守りつつ、新しい挑戦ができるまち



いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



実施日 2026年 2月 26日(水)

対象者	円蔵中学校		
区分	中学生	参加者	こども・若者 14名

意見を聴いた相手

円蔵中学校の3年生が、総合的な学習の時間で取り組んだ「本市をテーマにした課題解決学習」の成果を発表する発表会が行われ、参加しました。
生徒たちは、年度当初にそれぞれのテーマを決め、テーマに沿って現場見学や市職員へのヒアリングを行いました。
1年間を通じて調査を進め、見つけた課題や解決策をスライドにまとめ、1・2年生に向けて発表しました。

進め方



3年生の生徒は9教室に分かれて発表を行いました。
市職員2名が各クラスをまわり、合計14名の発表を聴きました。



発表の内容



発表内容の一部を紹介します

市内に住む中学生が、自分たちのまちにどのような興味を持ち、どのようなことを調べて発表したのか、その一部をご紹介します。

《こどもが暮らしやすい茅ヶ崎へ》

茅ヶ崎市では、赤ちゃんが生まれた家庭に対し、市からのお祝いとしてカタログギフトを贈る取り組みを行っている。また、「こども計画（こどもまちプロジェクト 2025-2029）」を策定し、こどもの意見を積極的に聴くことに力を入れている。この計画のこども向け概要版には、意見フォームが設けられており、こどもが市にいつでも意見を伝えられる仕組みが整えられている。

《茅ヶ崎は育児しやすい街なのか》

茅ヶ崎市へ転入する人の中でも、子育て世帯が多いことに着目した。その理由として、市がこどもや子育て支援に力を入れていることが考えられる。近年では小児医療費助成の対象が高校生まで拡大された。また、こども計画（こどもまちプロジェクト 2025-2029）の策定により、市の方針が、これまでの「大人が考えるこどもの幸せ」から、「こどもの目線で考える幸せ」へと変化している。妊娠期から子育て期まで利用できる子育て支援センターをはじめ、こどもの家、こども食堂、子育てサロンやサークルなど、多様な支援の場が整備されて

《茅ヶ崎市が行っている地球温暖化対策》

茅ヶ崎市では、ごみ袋の有料化を実施し、指定ごみ袋による排出を義務付けている。これは環境への負荷を軽減し、ごみの減量を図ることを目的としている。なお、ごみ袋が黄色に指定されている理由は、カラス対策のためである。

《茅ヶ崎の魅力を正解に発信するために》

市のホームページは、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語など多言語に対応している。市の魅力を世界へ発信するためには、「観光」と「暮らし」の両面から情報を発信することが重要である。観光面では道の駅などの紹介、暮らしの面では個人経営の店舗が多く個性豊かである点などを発信することで、国内外から選ばれるまちになると考えられる。

《物価高とその対策》

駅前街頭インタビューを実施し、物価高を実感しているかについて聞き取り調査を行った。その結果、多くの人が物価上昇を感じていることが分かった。市では対策として、補助金事業や低所得世帯向けの給付金支給などの取り



《茅ヶ崎の外国人》

茅ヶ崎市に居住する外国人は年々増加している。国籍別の割合を調べたところ、中国出身者の割合が多いことが分かった。今後は、多文化共生の視点からの取り組みも重要であると考えられる。

《茅ヶ崎市に介護福祉士を増やすには》

介護福祉士は国家資格であり、志望者が増えなければ人材は増加しない。調査の結果、給与水準の低さが課題のひとつ。介護福祉士の給与は国の制度に大きく左右されるため、制度の見直しも必要である。また、仕事が大変というイメージを軽減するため、介護ロボットの導入など業務効率化への支援を国や市が進めることも重要である。

《公園の正しい使い方と近隣住民との関り方》

公園でボール遊びをしていて注意を受けた経験から、公園利用の在り方について調べた。市には騒音やボール遊びに関する苦情が寄せられており、「禁止してほしい」という意見と「こどもに使わせてあげたい」という意見の両方があることが分かった。こどもの遊び場を確保しつつ、近隣住民にも配慮したルールづくりが求められている。

《茅ヶ崎市の道路がきれいになるには》

市では道路整備プログラムを策定し、計画的に整備を進めている。安全で快適な道路環境を維持するため、優先順位を定めながら改修や補修を実施している。

《なぜ茅ヶ崎の公園は制限が多く設備が整っていないのか》

公園整備には多額の費用がかかるため、一度に多くの施設を整備することは難しく、順番に進めている。例えば、新たに公園を整備するには数千万円、ジャングルジムの設置には約1千万円が必要である。市は多様な意見を踏まえながら、誰もが安心して利用できる公園づくりを目指している。



《行動（移動）がしやすいまちへ》

身近な砂利道が舗装されていない理由を調べたところ、私道や河川管理用通路など、通行を主な目的としていない道路であることが分かった。また、「エコクリーンソイル」という環境に配慮した低コストの舗装材もあることを知り、今後広く周知していくことが有効だと考えた。

《茅ヶ崎市の動物たちは幸せに暮らせているのか》

市では、飼い犬に対して年1回の狂犬病予防接種を義務付けている。こうした取り組みは、人と動物が安全に共生するための重要な施策である。

《茅ヶ崎市にセミを増やすには》

セミが大好きなのでセミを増やす方法を調べた。その結果、特定の生物のみを増やす取り組みは生態系に悪影響を及ぼす可能性があることが分かった。そのため、セミを守るためにも、外来種の侵入防止や既存の自然環境の保全が重要である。茅ヶ崎市では、大規模な建築を行う事業者などに一定面積の緑地設置を義務付ける条例があり、自然を守る姿勢が示されている。こうした取り組みは、自然環境を守るために良い影響をもたらし、結果としてセミにとっても良い影響を及ぼすため、とても重要な取組だと感じた。



いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



実施日 2026年 2月 27日(金)

施設名	ひかりの子幼稚園		
対象者	未就学児	参加者	こども・若者 47名 先生 4名

意見を聴いた相手

ひかりの子幼稚園に通う児童（年長）のみなさんからお話を聴きました。

進め方



本日の取り組みの目的や実施事項、市役所がどのようなことをしているか、現在、市がこどもの意見を聴く取り組みを推進していることなどを簡単に説明しました。



4グループに分かれて、1～4のテーマについて、質問への回答をシールに貼ってもらいながら、職員によるヒアリングを実施しました。

最後に、みなさんの意見はまちづくりの参考にすること。これからも、自分やみんなが住みやすいまちについて考えて、気づいたことがあったらまわりの大人に伝えてほしい、旨を伝えました。



《当日の流れ》

- ・趣旨説明
- ・シール貼り & ヒアリング
- ・振り返り

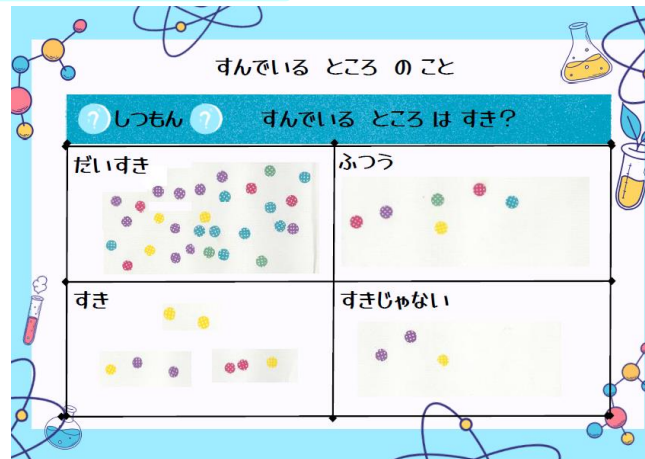
ヒアリングの内容



① まちのこと【質問：すんでいるところはすき？】

友だちの家が近い。海が近い。安心する。
学校が近い、1分で行ける。公園が近い。

赤羽根山が近くて楽しい。美味しいお店がたくさんある（サイゼリヤ・はま寿司・すき家・焼肉）海の散歩ルートにすぐ行ける。バレエを習える。辻堂めっちゃキレイ、はっぱもたくさんある。住みやすく健康になれる。



ちがさきはひま。

もっと楽しいところしてほしい

スキー場



② 安全について【質問：こわいばしょはある？】

家の近くの道がこわい

歩道がない場所はこわい

おばけ、夜のトイレ、ライトがない道路、暗い外、ゲームの中の夜は怖くない、お化け屋敷、夜の車の中



暗い道は怖い人がでてきそうのでドキドキする

夜トイレにいくとき
停電したとき

電気を消したとき、お化けがいそう
夜、外から鳥の鳴き声が聞えるとき
夜、こわいテレビを見ているとき

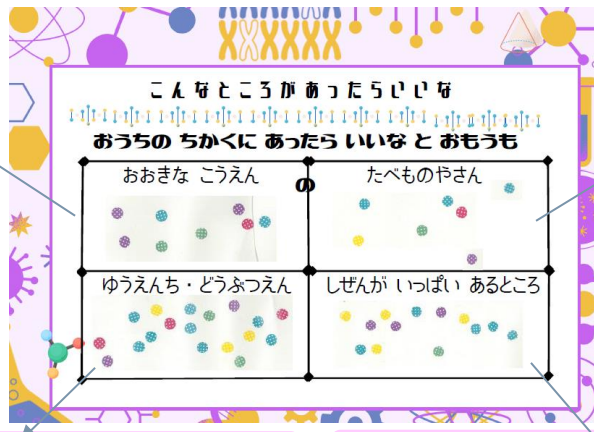
交通ルールを守れば何も怖くない

野生のサルは怖いけど怖い場所はない
怒ると怖い人はいる。



③ 【質問：うちの近くにあったらいいなと思う場所】

近くにないから
妹と遊びたい
すべり台が楽しい



お寿司がいっぱい
食べられる。たこ
焼き好き。誕生日
に行けるから。近
くにあると便利。

無料で入れるところ
がいい。近くにないから
いっぱい遊べる。楽し
いものがある。エサを
あげられるから。たま
に行きたい。

観覧車。ジェットコ
ースターが好き。

家族がケガをしない
で健康になれる。

地震が来たら逃げ
ることができる。
生き物がいっぱい
いて楽しい。虫と
りができる。クレ
イだから。



④ すごしかた

月
そろばん教室が
ある



日
お出かけできる。お父さんが
いる。ゲームができる。

火
ダンスがある体操
がある。遊べる。
新体操があるスイ
ミングがある

土
お父さんとお出かけできる。
サッカーができる。パパと遊
べる。Switchで遊べる。お
休みだから。

水
習い事の空手で友だちとシール交換
ができる。スイミング、ダンスがある。

木
サッカーがある。嬉
しいことがあるから。

金
好きなアニメがやっている。「金色」が好き。体操が
ある。金曜ロードショーがやっている。水泳がある。
ゲームができる。YouTube を見る ことができる。

いただきましたご意見は、市の担当課に伝えるとともに、こども・若者に関する取り組みについて話し合う「茅ヶ崎市こども計画推進会議」や「茅ヶ崎市こども政策審議会」とも共有し、こども・若者の視点に立って市の取り組みを推進します！



こどもの居場所 利用者アンケート

集計結果報告書（こども用）

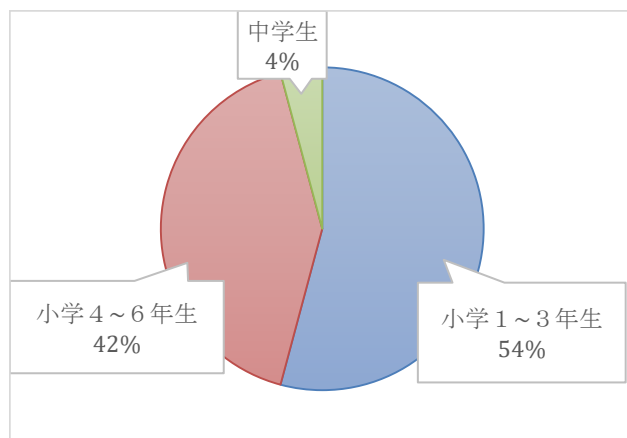
調査実施日：2025年8月～2026年3月



■ 回答者の年齢区分

年齢区分	件数	割合
小学1～3年生	26件	54%
小学4～6年生	20件	42%
中学生	2件	4%

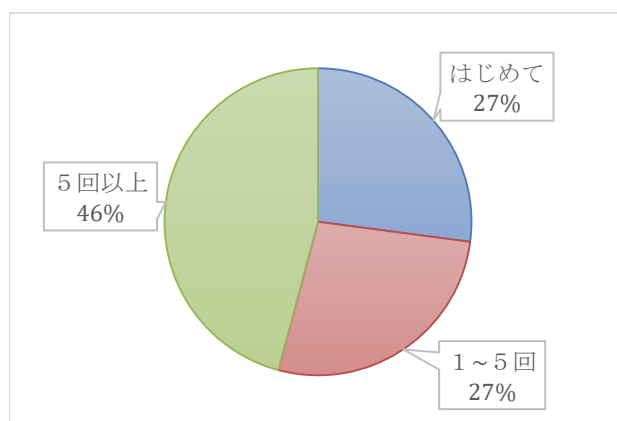
小学生が96%を占め、1～3年生が54%と過半数という結果となりました。中学生も2名いることから、幅広い年齢層が利用しています。



■ 利用回数

回数	件数	割合
5回以上	22件	46%
2～3回	13件	27%
はじめて	13件	27%

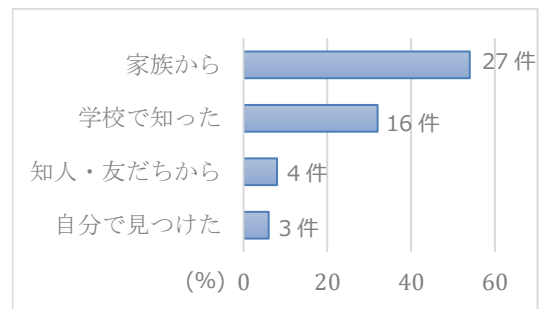
「5回以上」が46%とリピーターが多い一方、「はじめて」も27%おり、新規の来場者も継続的に増えています。



2 居場所を知ったきっかけ

知ったきっかけ	件数	割合
家族から聞いた	27件	54%
学校で知った	16件	32%
知人・友だち	4件	8%
自分で見つけた	3件	6%

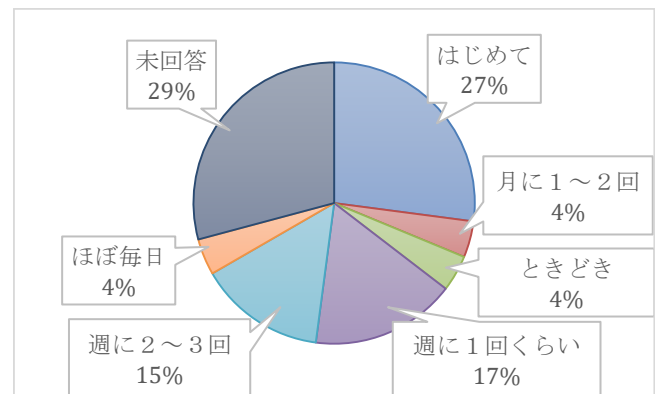
「家族から聞いた」が54%で最多。次いで「学校からの通知」が32%と、家庭と学校を通じた認知が主な経路です。



3. 利用頻度と活動内容

■ 利用頻度

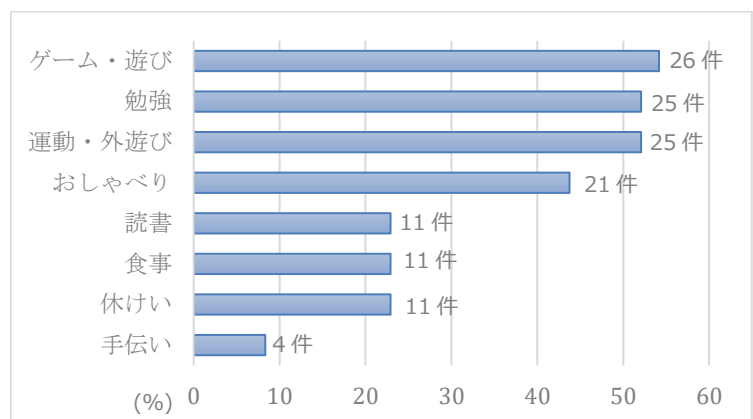
回数	件数	割合
ほぼ毎日	2件	4%
週に2～3回	7件	15%
週に1回くらい	8件	17%
ときどき	2件	4%
月に1～2回	2件	4%
はじめて	13件	27%
未回答	14件	29%



全体の36%が毎週利用している一方、初めての方も27%と一定数いる結果となりました。

■ 活動内容（複数回答）

活動内容	件数	割合
ゲーム・遊び	26件	54%
勉強	25件	52%
運動・外遊び	25件	52%
おしゃべり	21件	44%
読書	11件	23%
食事	11件	23%
休けい	11件	23%
手伝い	4件	8%

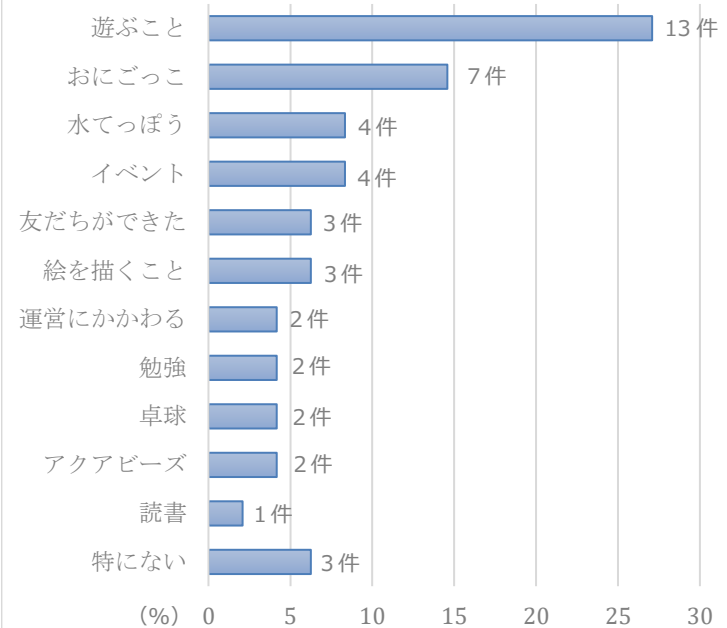


※ 複数回答のため合計は100%を超えます。

「ゲーム・遊び」54%と「勉強」「運動・外遊び」52%がほぼ同率で最多となりました。遊び・学習・身体活動の3項目が上位を占めています。また、「おしゃべり」44%も比較的多く、交流の場としての側面も強いことが分かります。

4. この居場所で好きなこと・楽しいこと

活動内容	件数	割合
遊ぶこと	13件	27%
おにごっこ	7件	15%
イベント	4件	8%
水てっぽう	4件	8%
友だちができた	3件	6%
絵を描くこと	3件	6%
運営にかかわる	2件	4%
勉強	2件	4%
卓球	2件	4%
アクアビーズ	2件	4%
読書	1件	2%
特にない	3件	6%



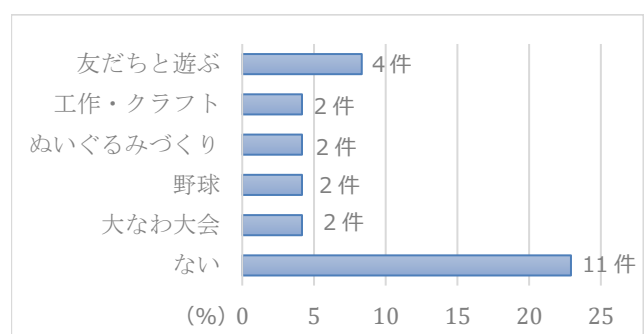
【その他】

- ・テープでミニチュアをつくること。
- ・自由にできること
- ・いっぱいあります！
- ・いろいろなところから来た人にたくさんのことを教えてもらうことができたこと！
- ・いろんなことが知れてうれしい
- ・みんなとしゃべること
- ・楽しいことはお菓子作りです
- ・好きなことクッキング
- ・にこちゃんとミニチュア作り（テープとクレヨンとマッキー）
- ・テープでアートをつくる

※ 複数回答のため合計が100%にはなりません。

5. この居場所でできたら嬉しいこと

活動内容	件数	割合
友だちと遊ぶ	4件	8%
大なわ大会	2件	4%
野球	2件	4%
ぬいぐるみづくり	2件	4%
工作・クラフト	2件	4%
ない	11件	23%



【その他】

クイズ大会。（個人名）ちゃんに来てほしい。ここでおやつをつくれたらいいな。そくてん。たのしかった。チェスができたらいいな。テレビが見れたら嬉しい。テレビとげーむ。ピアノ。ボール遊び。海へ行く。学習の時、少し静かにしてほしい。楽しい。鬼ごっこ。自由な居場所。友だちが増えたら良い。

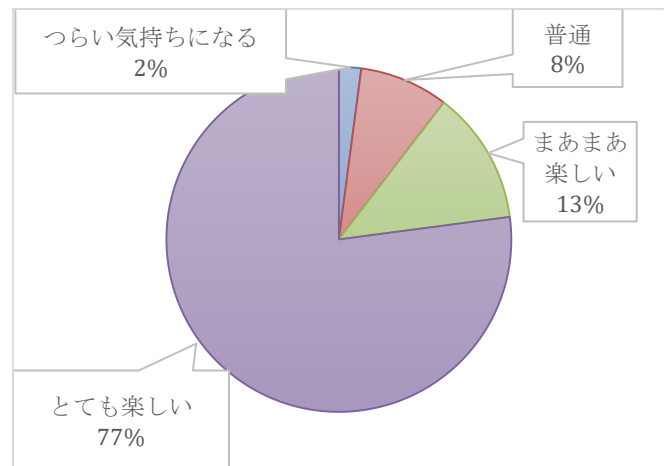
※ 複数回答のため合計が100%にはなりません。

6. 来ると感じる気持ち・安心感

■ この居場所にいるときの気持ち

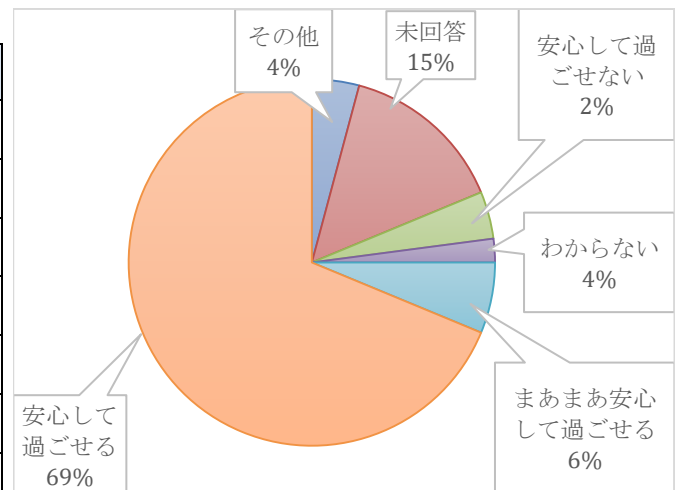
活動内容	件数	割合
とても楽しい	37件	77%
まあまあ楽しい	6件	13%
普通	4件	8%
つらい気持ちになる	1件	2%

「とても楽しい」77%、「まあまあ楽しい」13%を合わせると90%がポジティブな気持ちになると回答。居場所としての雰囲気づくりが高く評価されています。



■ この居場所は安心して過ごせる居場所か

回答	件数	割合
安心して過ごせる	33件	69%
まあまあ安心して過ごせる	3件	6%
安心して過ごせない	1件	2%
わからない	2件	4%
未回答	7件	15%
その他	2件	4%
【その他】		
・少し緊張する		
・家に1人であるより安心する		



「安心して過ごせる」「まあまあ安心して過ごせる」など安心感を示す回答が75%と大半を占める一方、「安心して過ごせない」と回答した方が1名いました。

▶ 「つらい気持ちになる」「安心して過ごせない」と回答したこどもが1名いました。

本調査は匿名で実施しているため、個人名やどの居場所からの回答かは特定できませんが、すべての居場所事業において、利用に至る背景の把握を含め、より丁寧な関わりが求められると考えます。

7. その他、居場所についてのご意見

- ・きめつのやいばのマンガ
- ・友だちとあそぶ
- ・わからない
- ・ぶらんこ
- ・安心なすべり台があるといいな
- ・めっちゃたのしい

※ お子さんからのコメントをそのまま記載しています。

8. その他、何か言いたいこと

- ・もっとあそべたらいいです。
- ・もっと友だちをつくって楽しく遊びたい
- ・サッカーしたいです。
- ・高3の人がまた戻ってきてほしい
- ・サマースペースがすごい楽しかった
- ・ここはたのしい
- ・サマースペースのおかげで、留守番が減って嬉しい

※ お子さんからのコメントをそのまま記載しています。

9. まとめ

本アンケートは48名のこどもが回答しました。小学生が96%を占め、なかでも低学年（1～3年生）が54%と過半数を占めています。利用のきっかけは「家族から聞いた」54%と「学校で知った」32%が中心で、家庭・学校の両ルートを通じて認知が広まっています。

活動内容は「ゲーム・遊び」「勉強」「運動・外遊び」が高い割合を占めており、多様なニーズに応えることができています。

「居場所にいるときの気持ち」では、「楽しい」「まあまあ楽しい」の合計が90%、「安心して過ごせる」と感じているこどもも75%に達しており、精神的な居心地の良さが高く評価されています。自由記述でも「友だちができた」「自由にできる」「家よりも集中して勉強ができた」など、学校でも家でもない第三の場所としての価値を示す言葉が多く挙がっています。

「サマースペースのおかげで留守番が減って嬉しい」というコメントがあり、長期休暇中の子どもの見守り・居場所としての機能も果たしていることが確認されました。また、「つらい気持ちになる」と答えたこどもが1名おり、個別ケアへの目配りも引き続き重要と考えます。

今後の要望としては、スポーツや創作活動などのイベント・プログラムの充実、屋外遊具の整備、静かに学習できる環境づくりなどが挙げられます。また、「友達をもっと増やしたい」「もっと遊べたら良い」という声も出ています。

以上

こどもの居場所利用者アンケート

集計結果報告書（大人用）

調査実施日：2025年8月～2026年3月 / 茅ヶ崎市



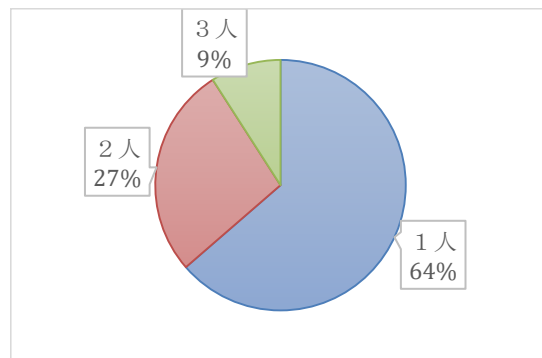
1. 回答者属性

■ 回答者数

回答者数	11名
お連れのお子さんの人数	16名

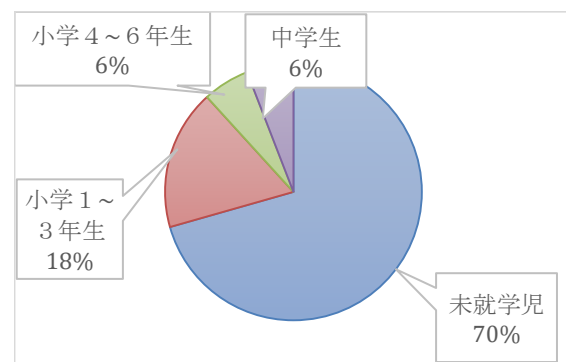
■ お連れのお子さんの内訳

人数	件数	割合
1人	7件	64%
2人	3件	27%
3人	1件	9%



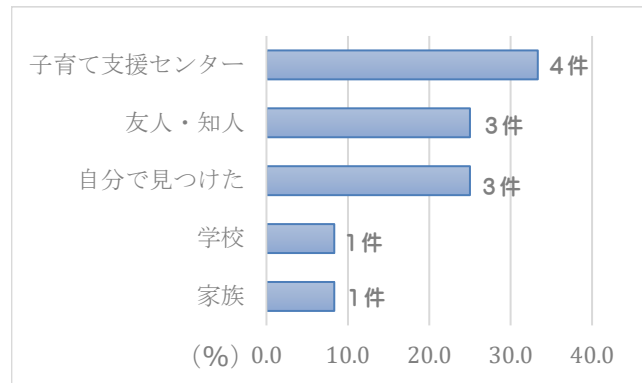
■ お子さんの年齢

年齢区分	件数	割合
未就学児	11件	68.7%
小学1～3年生	3件	18.7%
小学4～6年生	1件	6.2%
中学生	1件	6.2%



2. 居場所を知ったきっかけ

知ったきっかけ	件数	割合
子育て支援センター	4件	33.3%
友人・知人から	3件	25.0%
自分で見つけた	3件	25.0%
学校からのお知らせ	1件	8.3%
家族から聞いた	1件	8.3%
【その他】 既存の学校環境と子の特性にギャップを感じており、精神的負担が大きくなったため、本人のペースで過ごせる学び場を探してスクールを知った。		



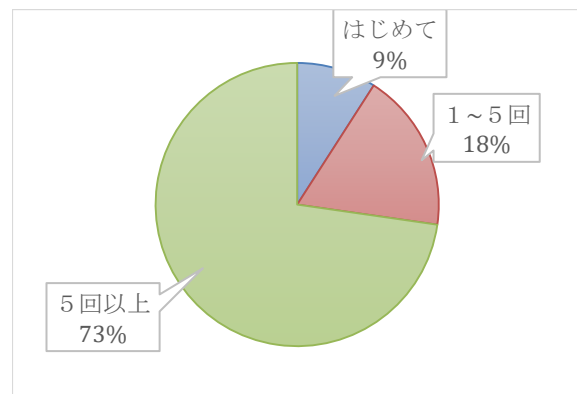
最も多い認知経路は「子育て支援センター」（33%）で、次いで「友人・知人」と「自分で見つけた」が各25%でした。口コミや子育て支援センターとの連携が集客に有効であることが示されています。

3. 利用頻度と活動内容

■ 利用頻度

回数	件数	割合
5回以上	8件	73%
2～3回	2件	18%
はじめて	1件	9%

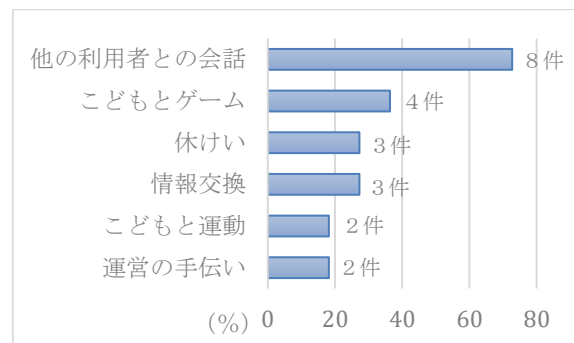
全体の73%が「5回以上」利用しており、継続的なりピーター層が中心となっています。



■ 大人の活動内容（複数回答）

活動内容	件数	割合
他の利用者との会話	8件	73%
こどもとゲーム	4件	36%
休けい	3件	27%
情報交換	3件	27%
こどもと運動	2件	18%
運営の手伝い	2件	18%

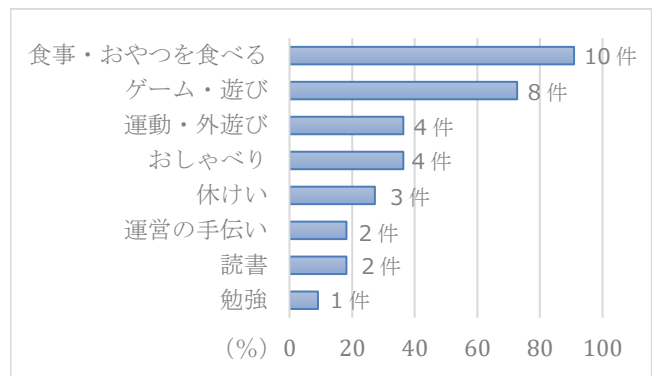
※ 複数回答のため合計は100%を超えます。



■ お子さんの活動内容（複数回答）

活動内容	件数	割合
食事・おやつを食べる	10件	91%
ゲーム・遊び	8件	73%
おしゃべり	4件	36%
運動・外遊び	4件	36%
休けい	3件	27%
読書	2件	18%
運営の手伝い	2件	18%
勉強	1件	9%

※ 複数回答のため合計は100%を超えます。



「食事・おやつを食べる」が91%と最多で、居場所が子どもたちの食の場としても機能していることが分かります。「ゲーム・遊び」（73%）も多く、遊び・休憩を中心とした自由な時間の提供が評価されています。

4. この居場所は安心して過ごせる場所ですか

回答者全員が「安心して過ごすことができる」と回答しました。主な理由は次のとおり。

- ・子どもは、決まったカリキュラムよりも自分のペースで活動を選べる環境が合っているため、この居場所では安心して過ごせている様子が見られます。
- ・多くの大人の目があるので安心して自由に遊ぶことができる環境。

5. 利用者の声

■ 好きなこと・楽しいと感じること

- ・料理を作って食べたり、おしゃべりしたり、ゲームをしたりすること。
- ・異年齢で子どもたちが遊ぶ環境が好き。親同士の関わりも多く育児の相談が気軽にできる。
- ・皆で季節の行事が楽しめること
- ・自由に責任を持って行動する環境であれこと
- ・大人と会話ができること
- ・他のママ達と話をしたり、ゆっくりお茶やお菓子を食べて過ごすこと
- ・子どもが遊んでいる姿を見ながら休憩できるのがいい。
- ・施設がとれもキレイでおしゃべりしやすいママさんがいて、とても楽しいです。
- ・運営精しているおばあちゃんたちとお話すること。ママたちと情報交換できること。子どもたちがのびのび遊べること
- ・子どもが運営会議や毎日の話し合いに参加する中で、自分の意見を伝えたり、他の子の考えに触れたりすることを楽しんでいます。その過程で積極性が育ち、精神面でも成長していると感じられることが、親としてとても嬉しく思っています。

■この居場所で、できたらいいなと思うこと

- ・運営費の都合で、現在は自身のタブレットを持参して利用しています。もし可能であれば、共通で使える端末やデジタル学習の環境整備が進むと、より活動の幅が広がると感じています。
- ・多くの人に知ってもらって参加者が増えたらいいな。
- ・リトミック
- ・もう少し大きくなってからも楽しめるようなおもちゃがほしい。トランポリン。すべり台とか！
- ・お昼ごはんを食べ、午後も遊べるといいなと思う。
- ・結構満足です。
- ・送迎

■その他、自由記載

- ・現在の制度では、学校に通えなくなった時点で子どもが受けられる支援が限られてしまうことに不安を感じています。どの子どもも安心して過ごせる選択肢が広がることを願っています。
- ・このような居場所があるおかげで家から外に出て過ごす時間が増えるのと、親以外の大人と過ごしたり、お友達と出会える場所にもなります。家以外で安心して過ごせる居場所がたくさん増えていくことで、学校に行っていない子の選択肢が広がったり、本人の困りごと親の悩み事も少し減ると思います。
- ・もう少し値上げしても良いので、無理せず持続可能な活動をしていってほしいと思います。
- ・平日は毎日でもやってほしい！
- ・いつもおばあちゃん達が子ども達にやさしく接してくれて、親も子どもも大好きな場所です。季節の行事も沢山あり、毎回行くのが楽しみです。
- ・もっといろんな人にこの場所を知ってほしいです。
- ・満足です。
- ・こういう場所が増えていくとうれしいです！！室内で遊べる場所があるとうれしい！！

6. まとめ

本アンケートから、この居場所は特に未就学児を持つ保護者に多く利用されており、子育て支援センターを通じた認知が最も多いことが分かりました。リピーター率は高く、大人にとっては「親同士の情報交換・交流の場」として、子どもにとっては「食事・遊び・休憩の場」として機能していることが確認されました。

安心感については全員が「はい」と回答しており、多様な年齢層の大人が関わる環境が安心感の醸成に寄与していると考えられます。また、学校に通いにくいこどもの代替的な居場所としての役割を期待する声も見られ、インクルーシブな居場所としての社会的意義が示唆されます。

今後の課題としては、①開催日数・時間の拡大（特に平日毎日・午後まで）、②認知度の向上、③持続可能な運営体制の構築（適切な利用料の設定など）が挙げられます。

以上

こども食堂 利用者アンケート

集計結果報告書（こども用）

調査実施日：2025年8月～2026年3月 / 茅ヶ崎市



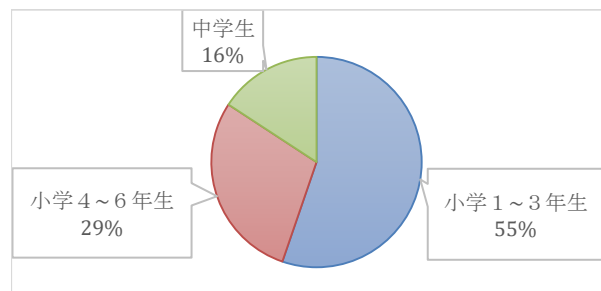
1. 回答者属性

■ 回答者数

回答者数	38名
------	-----

■ 年齢構成

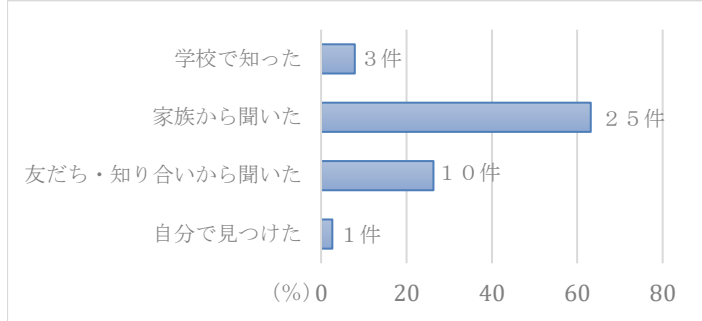
年齢区分	件数	割合
小学1～3年生	21件	55%
小学4～6年生	11件	29%
中学生	6件	16%



回答者38名のうち、小学1～3年生が過半数を占め、次いで小学4～6年生、中学生の順でした。

2. こども食堂を知ったきっかけ・利用状況

知ったきっかけ	件数	割合
学校で知った	3件	8%
家族から聞いた	25件	63%
友だち・知人か	10件	26%
自分で見つけた	1件	3%

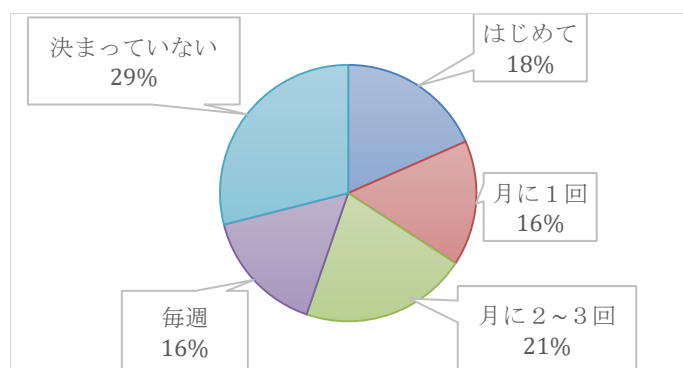


【その他】

ママがはじめたから、ママがやってるから、ばあばがやってるから

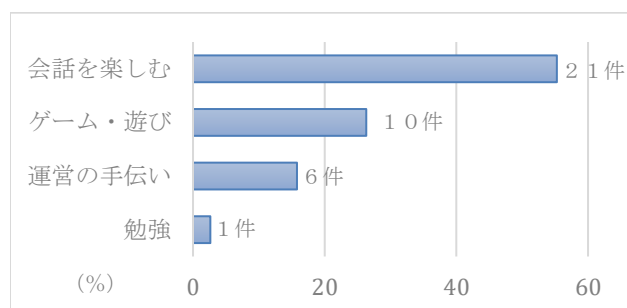
■ 利用頻度

回数	件数	割合
毎週	6件	16%
月2~3回	8件	21%
月1回くらい	6件	16%
はじめて	7件	18%
決まっていない	11件	29%



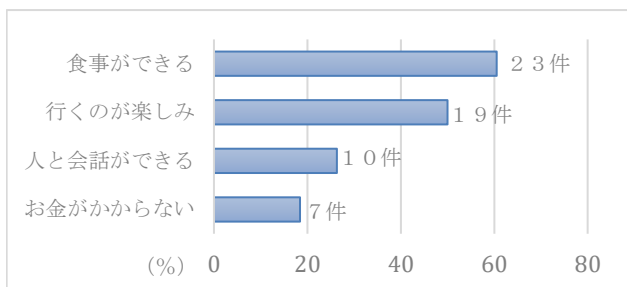
■ こども食堂でしていること (食事以外)

実施事項	件数	割合
会話を楽しむ	21件	55%
ゲーム・遊び	10件	26%
運営の手伝い	6件	14%
勉強	1件	3%



■ こども食堂を利用する理由

活動内容	件数	割合
食事ができる	23件	61%
行くのが楽しみ	19件	50%
人と会話ができる	10件	26%
お金がかからない	7件	18%



【その他】

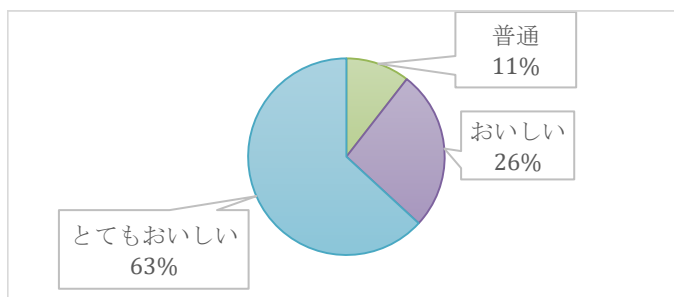
・にぎやかでたのしい、ママが行くと決めているから、ママがやっているから、友だちに会える

※ 複数回答のため合計は100%を超えます。

4. 満足度・こども食堂を利用しているときの気持ち

■ こども食堂のごはんのおいしさ

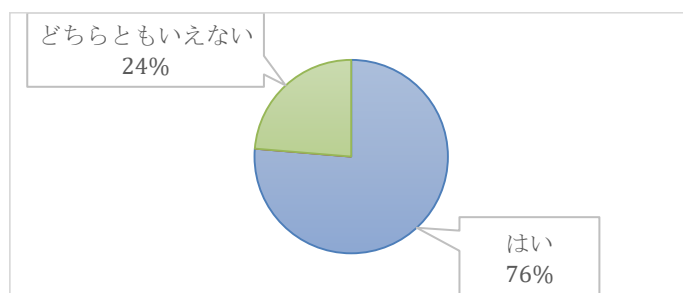
回答	件数	割合
とてもおいしい	24件	63%
おいしい	10件	26%
普通	4件	11%
あまりおいしくない	0件	0%
おいしくない	0件	0%



こども食堂利用者の89%の方が「とてもおいしい」、「おいしい」と回答しています。

■ こども食堂にまた来たいと思いますか

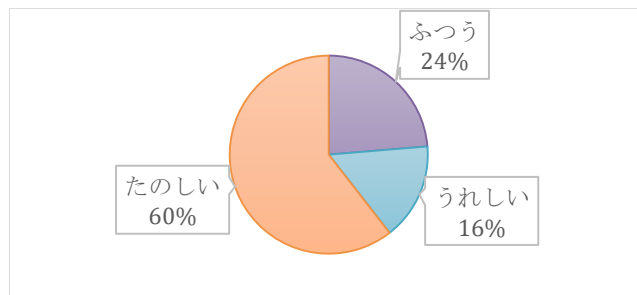
回答	件数	割合
はい	29件	76%
いいえ	0件	0%
どちらともいえない	9件	24%



76%のこどもが「また来たい」と感じており、継続意向が高い結果となりました。

■ こども食堂に来るときの気持ち

回答	件数	割合
たのしい	23件	60.5%
うれしい	6件	15.8%
ふつう	9件	23.7%
つまらない	0件	0%
行きたくなかった	0件	0%
わからない	0件	0%

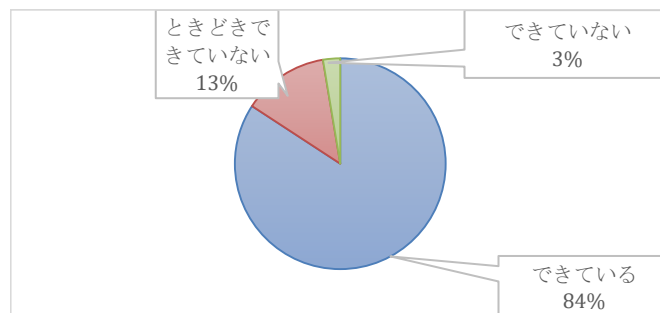


「たのしい」と「うれしい」を合わせた76.3%がポジティブな感情を持っています。

5. 家庭での食事・普段の過ごし方について

■ 家でおいしく食事できていますか

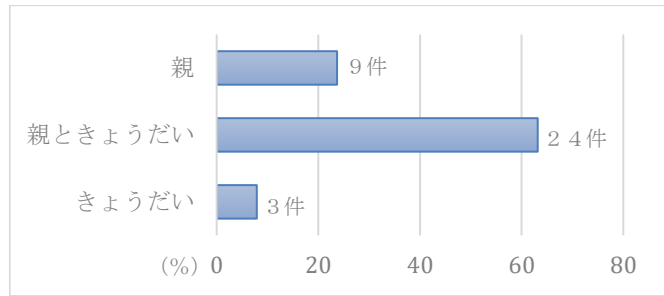
回答	件数	割合
できている	32件	84%
ときどきできていない	5件	13%
できていない	1件	3%



16%が「ときどき」「いいえ」と回答。こども食堂が食の補完的役割を担っていると考えられます。

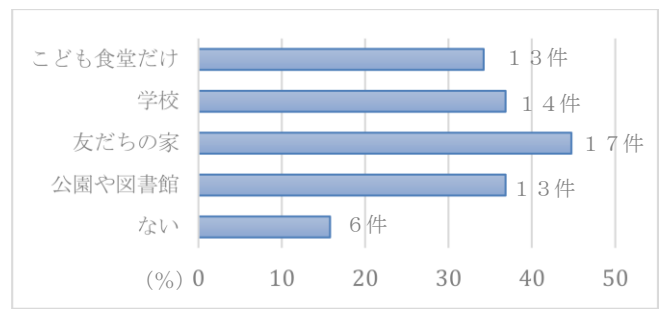
■ 家では、だれとご飯を食べていますか

回答	件数	割合
親	9件	23%
親ときょうだい	24件	63%
きょうだい	3件	7%
【その他】 家族、ばあば、友だち、親とばあば		



■ 家以外でゆっくりできる場所がありますか

回答	件数	割合
こども食堂だけ	13件	34%
学校	14件	37%
友だちの家	17件	45%
公園・図書館	13件	37%
ない	6件	16%



【その他】
こどもしょくどう、パパやママのお仕事先、おじいちゃんの家、自分のベット、自分の家のソファァー、ゆめの中

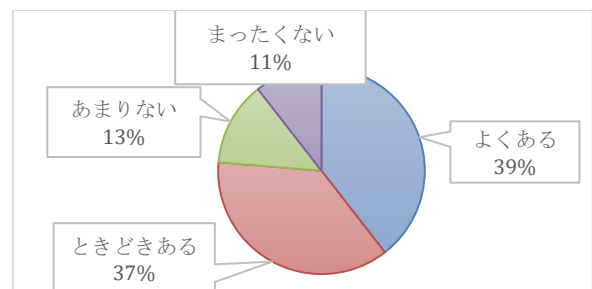
※ 複数回答のため合計は100%を超えます。

「こども食堂だけ」が34%、「ない」が16%存在し、こども食堂が貴重な居場所となっている子どもが多くいます。

6. 交流・アクセス

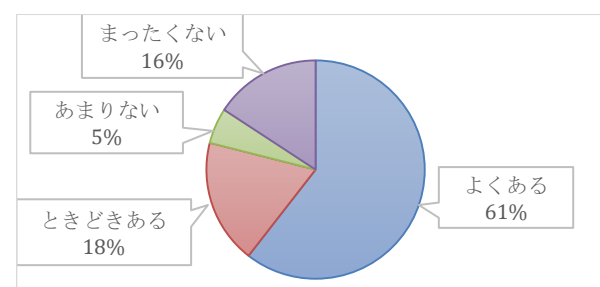
■ 他の利用者との交流

回答	件数	割合
よくある	15件	39%
ときどきある	14件	37%
あまりない	5件	13%
まったくない	4件	11%



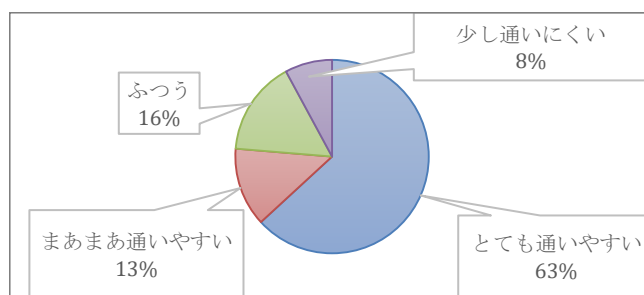
■ 運営スタッフとの交流

回答	件数	割合
よくある	23件	61%
ときどきある	7件	18%
あまりない	2件	5%
まったくない	6件	16%



■ こども食堂の通いやすさ

回答	件数	割合
とても通いやすい	24件	63%
まあまあ通いやすい	5件	13%
ふつう	6件	16%
少し通いにくい	3件	8%



スタッフとの交流は「よくある」が61%と高く、温かい関係性が築かれています。他の利用者との交流も「よくある」「ときどきある」で76%に達し、こども同士の交流の場としても機能しています。

7. 自由回答（利用者の声）

■ 食べたいメニュー

デザート（5人）、カレー（4人）、お寿司（3人）、からあげ（2人）、ハンバーグ（2人）、オムライス（2人）、わたがし（2人）、炊き込みご飯（2人）、サラダ（2人）、ポテトサラダ（2人）、アイス（2人）、お魚（2人）、フルーツ・くだもの（2人）

カレーとナン、フランスパン、あげパン、チキン、ステーキ、焼き鳥、しゅうまい、マスタードつきポテト、いくら、マグロ、きゅうりとかコーンのサラダ、ブロッコリー、オニオンスープ、トマトのカプレーゼ、ジュース、おかし、ドーナツ、和食で揚げ物、おかずたくさん、子どもが食べやすいごはん、うみぶどうがあるとうれしい。

別になんのご飯でも美味しいと思うからいい。
まああえて言うなら、ハンバーグとかがいいと思う。

■ 来てよかったこと

友だちと遊べて楽しい（7人）、おいしいご飯を食べることができる（6人）、たのしい（4人）、無料でご飯を食べることができる（3人）

温かいご飯が食べられること、フルーツがたくさん食べられる、ママやきょうだいの友達と一緒に色々喋れる、みんな優しい、いろんな人とはなせたりあそべるから、ゆっくり食べられる、おかしがもらえる、こっきをおしえてもらったこと、接客が良い、あんまり好きじゃない

■ 改善してほしいこと

ない（9人）

- ・ 食べ終わった後に遊べる場所や時間があるといいな。
- ・ 食べる時間をもう少し長くしてほしい。カレー以外も食べてみたい。
- ・ とくにないけど強いて言うならお菓子をもっと増やしてほしいです！
- ・ 特にないけど強いて言うなら、おかしをもっとふやしてほしいことくらいですね！
- ・ もうちょい山盛りがいい??
- ・ あそびばがもっとたのしい
- ・ いつもせいっぱいしてもらっているのではないです。
- ・ そとにあそべるものがほしい
- ・ もうすこしそうじをしたほうがいいのかとおもちゃをふやす。庭をきれいにする。
- ・ 日曜日とか学校がやらない日にしてほしい
- ・ 回数を増やしてほしい。
- ・ うみぶどう

■ 開催時間・曜日の希望

なし（8人）
わからない（2人）
<ul style="list-style-type: none">・今の開催時間でいい・ごご3じからごご8じまでやってほしい・金曜日は習い事があって始めから行けないので、違う曜日にして欲しい。・月曜日、木曜日、土曜日、日曜日以外だったらどこでも・毎週やって欲しい・土曜日など・月曜日 昼の11時くらい・週3回ひらいてほしいです。おねがいします。・日曜日、学校がない日・5時から

8. まとめ

本アンケートには38名のこどもが回答し、小学1～3年生が過半数を占めました。来場のきっかけは「家族から聞いた」が63%と最多でした。

ごはんへの満足度は非常に高く、「とてもおいしい」「おいしい」を合わせると89%が好評価を示しました。また、「また来たい」と回答したこどもは76%に上り、高い満足度と継続意向が確認されました。こども食堂に来る時の気持ちでは、約76%が「たのしい」「うれしい」と答え、こども食堂がこどもたちにとって楽しい場として根付いています。

一方、家でおなかいっぱい食べられていない（「ときどきできていない」「できていない」）と回答したこどもが16%存在しており、こども食堂が食の補完的な機能を担っている実態もうかがえます。また、家以外でゆっくりできる場所が「こども食堂だけ」34%や「ない」16%というこどもも多く、居場所としての社会的価値が高いことが示されました。

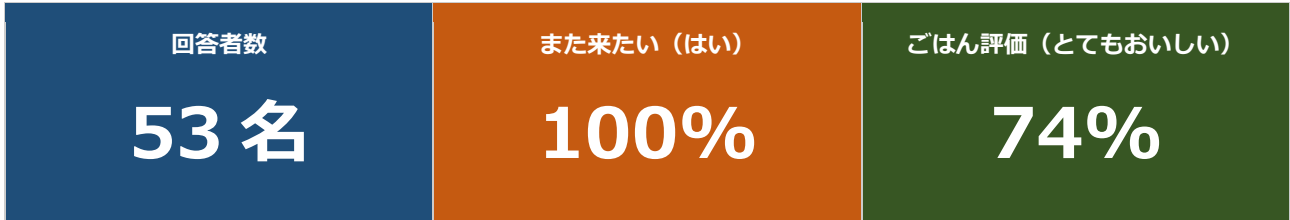
改善要望として「ない」の次に多かったのは、食後の遊び時間・遊び場の充実と、開催日数・時間の拡大（週末・休日・回数増）でした。スイーツやデザートを求める声も多く、こどもらしいニーズが率直に表れていました。

以上

こども食堂 利用者アンケート

集計結果報告書（大人用）

調査実施日：2025年8月～2026年3月 / 茅ヶ崎市



1. 回答者属性

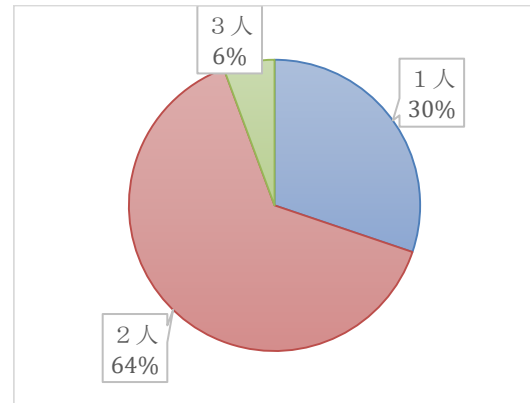
■ 回答者数

回答者数	53名
お連れのお子さんの人数	93名

■ お連れのお子さんの内訳

人数	件数	割合
1人	16件	64%
2人	34件	27%
3人	3件	9%

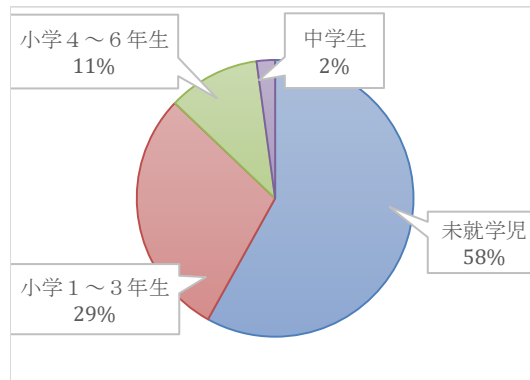
「2人連れ」が64%と最多。複数のお子さんを連れた保護者の利用が中心です。



■ お子さんの年齢

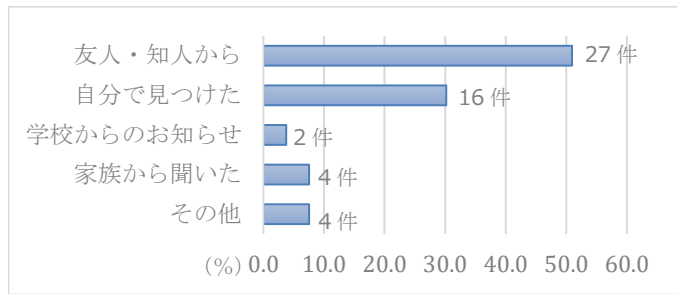
年齢区分	件数	割合
未就学児	54件	58.0%
小学1～3年生	27件	29.0%
小学4～6年生	10件	10.7%
中学生	2件	2.1%

同伴する子どものうち未就学児が89%を占め、乳幼児を持つ保護者が主な利用層です。



2. こども食堂を知ったきっかけ・利用状況

知ったきっかけ	件数	割合
友人・知人から	27件	50.9%
自分で見つけた	16件	30.2%
学校からのお知らせ	2件	3.8%
家族から聞いた	4件	7.5%
その他	4件	7.5%



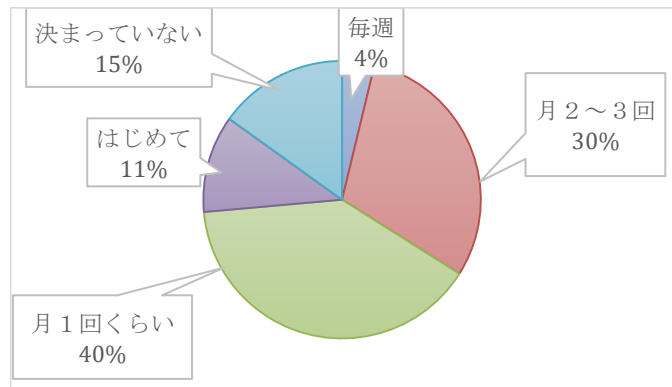
【その他】

- ・子育てサロン
- ・もともと恵泉教会のイベントをチェックしていた
- ・同じ場所で習い事をしており、そこで教えてもらいました。
- ・市役所の方に教えていただきました
- ・LINEのイベント募集
- ・LINE(以前利用していて登録あり久しぶりに利用)

■ 利用頻度

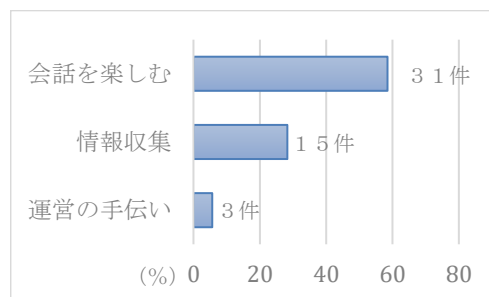
回数	件数	割合
毎週	2件	4%
月2～3回	16件	30%
月1回くらい	21件	40%
はじめて	6件	11%
決まっていない	8件	15%

全体の74%が月1回以上利用しており、継続的なリピーター層が中心となっています。



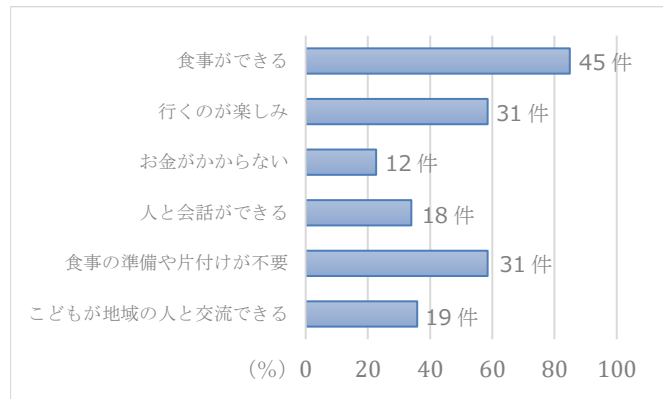
■ こども食堂でしていること(食事以外)

実施事項	件数	割合
会話を楽しむ	31件	58%
情報収集	15件	28%
運営の手伝い	3件	6%



■ こども食堂を利用する理由（複数回答）

活動内容	件数	割合
食事ができる	45件	85%
行くのが楽しみ	31件	58%
お金がかからない	12件	23%
人と会話ができる	18件	34%
食事の準備や片付けが不要	31件	58%
こどもが地域の人と交流できる	19件	36%



【その他】

- ・自分以外の人が作った手作りのごはんが美味しいから
- ・ごはんが美味しい
- ・子どもがよく食べる
- ・家だと自分の子供の隣にゆっくり座って話をしながら食べるのが難しい。子ども食堂はゆったり時間を過ごせます。
- ・テイクアウトして夕食の準備に追われることなく家族と食事できる
- ・子どもにとって安心できる場所
- ・経済的な不安

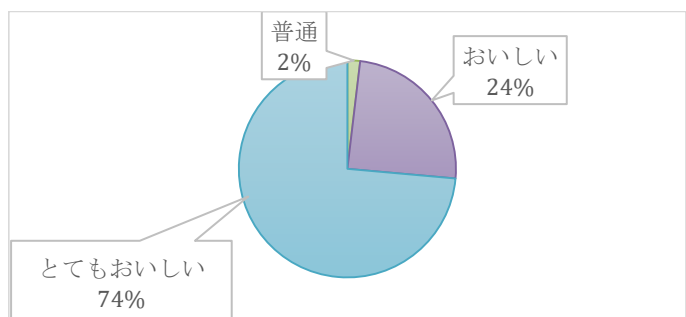
※ 複数回答のため合計は100%を超えます。

「食事ができる」が85%と断トツ。同率2位は「楽しみ」と「食事準備不要」（各58%）で、育児中の保護者にとって家事の負担軽減への需要が高いことが分かります。

3. 満足度

■ こども食堂のごはんのおいしさ

回答	件数	割合
とてもおいしい	39件	74%
おいしい	13件	24%
普通	1件	2%
あまりおいしくない	0件	0%
おいしくない	0件	0%



こども食堂利用者の98%の方が「とてもおいしい」、「おいしい」と回答しています。

■ こども食堂にまた行きたいか

回答	件数	割合
はい	53件	100%
いいえ	0件	0%

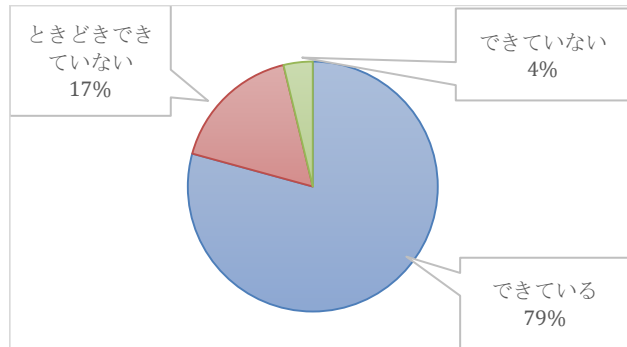


4. 家庭での食事について

■ ご家庭で満足いく食事ができていますか（保護者）

回答	件数	割合
できている	42件	79%
ときどきできていない	9件	17%
できていない	2件	4%

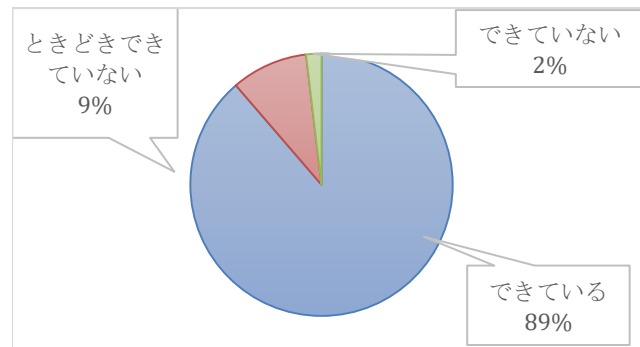
「ときどき」「いいえ」を合わせると21%が家での食事に課題を感じており、保護者自身の食の問題を抱えている人が一定数いることが伺えます。



■ ご家庭で満足いく食事ができていますか（子ども）

回答	件数	割合
できている	47件	89%
ときどきできていない	5件	9%
できていない	1件	2%

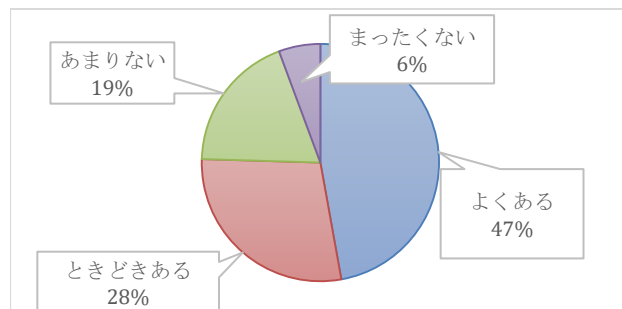
「ときどきできていない」「できていない」との回答が6件ありました。子ども食堂が食の補完機能を担っていることが確認できました。



5. 交流・アクセス

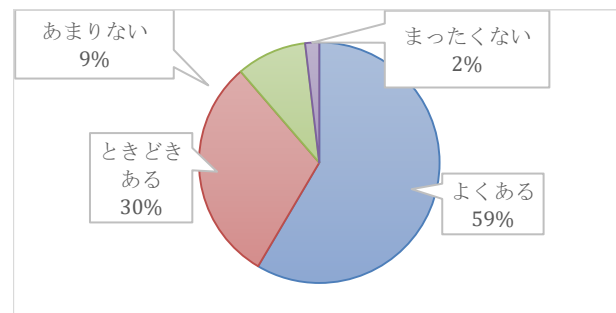
■ 他の利用者との交流

回答	件数	割合
よくある	25件	47%
ときどきある	15件	28%
あまりない	10件	19%
まったくない	3件	6%



■ 運営スタッフとの交流

回答	件数	割合
よくある	31件	59%
ときどきある	16件	30%
あまりない	5件	9%
まったくない	1件	2%

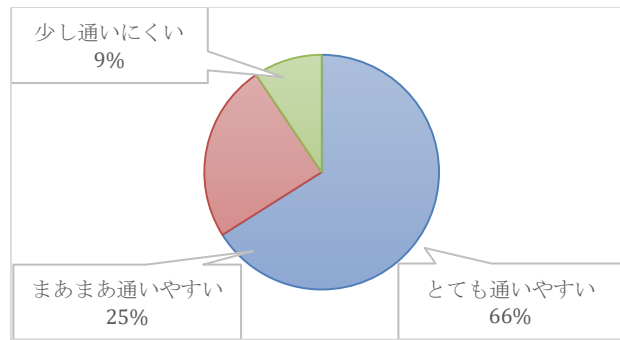


子ども食堂が、地域コミュニティの場としても機能していることが確認できました。

■ こども食堂への通いやすさ

回答	件数	割合
とても通いやすい	35件	66%
まあまあ通いやすい	13件	25%
少し通いにくい	5件	9%
通いにくい	0件	0%

91%がアクセスに満足しています。なお、現在市内のこども食堂の中学校区あたりの設置率は92.3%です。



6. 自由回答（利用者の声）

■ 食べたいメニュー主な回答（自由記載）

からあげ（5件）、揚げ物（4件）、季節の食材使ったおかず（4件）、ハンバーグ（3件）、オムライス（3件）、野菜（9件）、魚料理（2件）、カレー、スパゲティ、ハヤシライス、てんぷら。普通の家料理、栄養価が高いもの、バランスの良い食事、アイスカフェオレもあると嬉しい。

子供食堂といえば野菜多めのおかずが多いけど、たまにはケーキとかプリンとか子供も大人もご褒美のようなものがあると嬉しい。

乳幼児から大人まで一緒に食べられる、優しい味・柔らかめの食事だと嬉しい。

家では、時間が限られた中で、バランスのいい食事をなかなか作れないので、普段しっかり食べられない菜のがあるだけでありがたいです。

手作りのおかずがあると嬉しいです。

今のままで利用させて頂き、満足しています。いつもありがとうございます！

なんでも嬉しいです

自分以外の方に作ってもらえる食事はなんでもおいしいです

白米・汁物だけでも充分ありがたいです

こどもが確実に食べるメニュー（でもそうするとメニューが固定になるので悩ましい←家庭でのなし）

■ こども食堂に来てよかったと感じたこと（自由記載）

子供と歳の近い保護者さんと交流できるのがよいです。自分の地元ではないので他の大人と話せる貴重な機会となっています。

子供が友達と楽しく食事ができること。

普段は食べようとしない野菜を、残さずに食べること。

栄養がありそうなものを食べられて

知り合いともたくさん交流できること

自分では作らないようなおかずを食べられること。子供が色々な味を知れること。皆さんが親切なこと。

こどもが普段食べない物を食べてくれたり、みんなで食べると美味しいねと喜んでくれること。

仕事で疲れている時、子供が子ども食堂で食事を済ませられるのが助かります

パパが仕事で月の半分は帰って来なくて、ほぼ毎日ワンオペなので、本当に有難くいつも利用させてもらってます。こども食堂でごはんをたべさせてもらった日は家に帰ってお風呂に入って寝るだけなので、家事の負担も少なく感謝です。こどももいつもと違う環境で食事が出来、とても喜んでます。

外食では味わえない自分以外の手料理を食べられるのが、大人にとっても小さな子どもにとっても嬉しい。

本来の子ども食堂の目的を説明する時間があってもいいかなー

食事の支度が不要

子供が楽しそうにしている。

美味しい手作りのご飯が安価で食べられる。いつも作る側なので、ひとの作るご飯を食べられるのは嬉しいです。経済的に助かります。

子供が安心して遊べる

スタッフがみな親切

こどもは子ども同士でお兄さんお姉さんと交流して、親は大人同士で交流できるところがよいです。子育て中でもゆっくりご飯できる場所

家族以外の地域の方との交流が気分転換になり、元気をもらっています。

こどもが縁日を楽しめる

大人は食事の準備をしなくてよいので余裕ができる

懐かしい、幼稚園ぶり、小学校の違う親子と交流ができることです。

子供がお友達と一緒にご飯を食べるのが嬉しいようで嫌いな野菜も食べている。

ご飯をつくる時間、洗い物の時間をこどもたちのために使えること

こどもが楽しそうにしているのを見たとき

ファミリーサポート預かりの際とても助かります

ありがたい存在です。

楽しい、おいしい、家でできない時間が過ごせる、

親子で楽しみな場所です。

主催者のかたとお話しするのも楽しいです。

自分で毎日作るのは大変なので、美味しいご飯をいただけてうれしいです

おいしいごはんをいただける

憂鬱な夕方子どもと気軽に外出してご飯をいただけること

母の料理以外を他の場所で食べられるのが楽しいようです

お腹いっぱい食べられる

おだやかなきもちで食べられる

母として食事づくりの息抜きになる

準備や片付けをせずおいしいごはんが食べられること

外食がなかなかできないので、家とはちがうふんいきやごはんを子どもたちに食べさせることができる。料理を作る、買う時間を子どもたちと一緒に過ごすことができる

夏休みで朝昼晩のご飯作りを毎日40日間つくって本当に疲れているので息抜きできました。

孤立した子育てから救われた。

こどもが癇癪を起したときこどもも連れて逃げ込んできました。

スタッフの方が子どもの成長に気付いてくれること。

息子にたくさん声をかけてくれること。

こどもが良く食べるとき。

そもそも誰か（自分以外の他人）が作ってくれること自体の有難さ。泣ける。

イベントなどがあって、嬉しそうにしているとき。(後日また行きたいと言われたとき)
家では作らないような料理とめぐりあったとき
思いがけず※(他物資)をもらえたとき
こどもが毎回楽しみにしている
家では食べないものを食べてくれる

■ 改善されると良いなと思うこと (自由記載)

特にありません (8件)

いつもありがとうございます。

現金以外で支払うことができれば助かる。事前入金でも可。また、使わないおもちゃや子供服を寄付したい(子供服回収を実施している団体はいくつか知っています)

人が多すぎて寒い中列に並んで待つのが辛いです。頑張ってきて目の前で完売してしまった時があったので、もう少しその点改善してほしいです…少し遠いので自転車で来ないと行けないのですが、自転車止めるところも定まらなくて毎回戸惑ってしまいます

仕方ないことですが、もっとスペースがあればいいのと思います。

食事の量が少ない時がある

大人 300 円、子供 0 円のようなところはいくつかありますが、とても助かります。中には大人子供とも全員 200 円から 300 円のようなところもあります。要望は、小和田地区が少ないことです。徒歩で行ける範囲は一ヶ所。おそらく小和田地区は比較的駅近なので富裕層？が多いからなのかもしれませんが。また大体どの子供食堂も月一なのでもっと頻繁に使いたいです。歩いていける範囲なところを最低でも週一使いたいです。また、大体公なところを使っている場所があり少し清掃が気になることもあります。食事は本来綺麗なところで食べたいです。ですが、ボランティアのようなものだと思っているのでなるべく気にしないようにしていますが、本音は気になります。

残った分は持ち帰りたい

しいていえば駐車場がほしいですが、地域の活動なのでそれぞれ近いところにあればよいのかなと思います。レトルトじゃないと嬉しいです。

十分楽しんでます

食事をする場所(外)が斜めなのいまで子供が座りづらそうです。

予約をせずに利用できたら嬉しい

湘南パントリーさんをいつも利用させていただいていますが、スタッフの方々は気さくですし、お料理もおいしくて毎回大満足の時間を過ごしています。

まだこどもが小さいので、大人の方はテイクアウトできるようにしてほしい。

場所は変わってもいいので毎日どこかで開催してくれているとよい 曜日に偏りがある

感謝しかありません！

ご用意など大変と思いますが月 2 回くらい開いていただけるとありがたいです

人数制限

毎日やってほしい

いつも感謝しています。

いつもお世話になっています。

ありがとうございます。

通いやすさ、頻度

■ 開催日や開催時間について（自由記載）

特にありません（8件）

開催日を増やしてほしい（4件）

土日・祝日（2件）

復職すれば 18:30 に保育園お迎えとなり、その時間には受付終了している子ども食堂も多いので利用しづらくそこが残念。遅い時間はテイクアウトなど対応していただくと大変助かります。

それぞれのこども食堂の開催日や当日のメニューを調べるのに毎度苦労している。市のホームページなどでカレンダーでまとめて各食堂の開催日が一目で検索できるシステムがあると更に利用しやすい。

子供食堂によっては土日のところもありますが、平日夜が圧倒的に助かります。土日は予定があることが多いので。時間は 18 時以降がいいです。

月に数回あると都合が合うので助かります。時間も夕食前からあいているので、ごはんたべる前に遊べるのも助かります。

テイクアウトもあるので仕方ないと思いつつ、イートインの時間が夕食の時間より少し早めなので、18 時スタート位にいただけると、夜に子どもが「お腹すいた？」と言わずに済むのかなと思います。

金曜日の夜もあるとうれしいです

このままで満足しています。

予約をせずに利用できると嬉しい。月 2 回程度開催されると更に嬉しい。

湘南パントリーでの開催を月 2 回にしてほしいです。

今のままでありがたいです。

中海岸の皆さんにはいつも感謝しています

平日

夏休みの昼、子どもたちだけで来られるのがとても助かります。

木曜、土曜が生活のスタイル的に嬉しい。

平日 17 時～19 時

7. まとめ

本アンケートは 53 名の保護者が回答しました。「また来たいと思いますか」という問いに対して全員が「はい」と答えており、利用者満足度は極めて高い水準にあります。味も「とてもおいしい」「おいしい」が 98%に達し、手作り・家庭的な食事の質が幅広い世代に評価されています。

利用者は未就学児を持つ保護者が多く、来場きっかけは「友人・知人から」約 51%が最多です。利用理由として「食事の準備・片付けが不要」58%が「楽しみ」と並んで上位に入っており、子育て中の保護者が日常の家事負担を軽減する場としてこども食堂を活用していることが確認できました。

自由記述には、ワンオペ育児・孤立した育児環境・経済的な課題など、保護者が抱える悩みが複数みられました。「孤立した子育てから救われた」や「泣けるほど有難い」というような声は、こども食堂が食の提供を超えて精神的な支えになっていることも確認できました。

改善要望としては、①開催頻度の増加（月 2 回・週 1 回以上を望む声が多数）、②夜間・土日など時間帯・曜日の拡充、③混雑時の対応（予約制・定員管理・待機環境の改善）、④市全体の開催情報を一元検索できるシステムの整備、⑤支払い方法の多様化、が主な課題として挙げられました。

以上

茅ヶ崎市 こども・若者の意見を聴く取り組み

アンケート集計結果報告書（18歳以上）

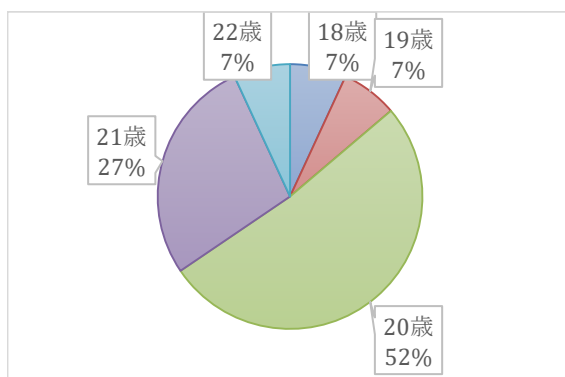
調査実施日：2025年4月～2026年3月



1. 回答者属性

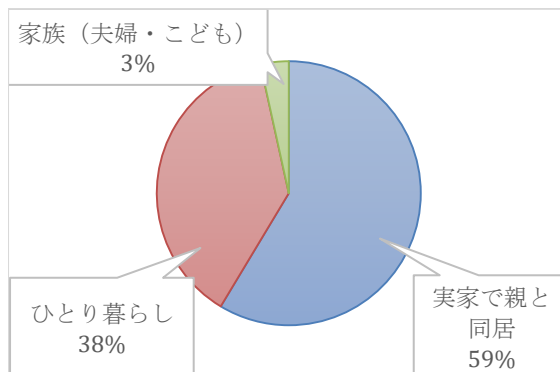
■ 回答者の年齢区分

年齢区分	件数	割合
18歳	2件	6.9%
19歳	2件	6.9%
20歳	15件	51.7%
21歳	8件	27.6%
22歳	2件	6.9%



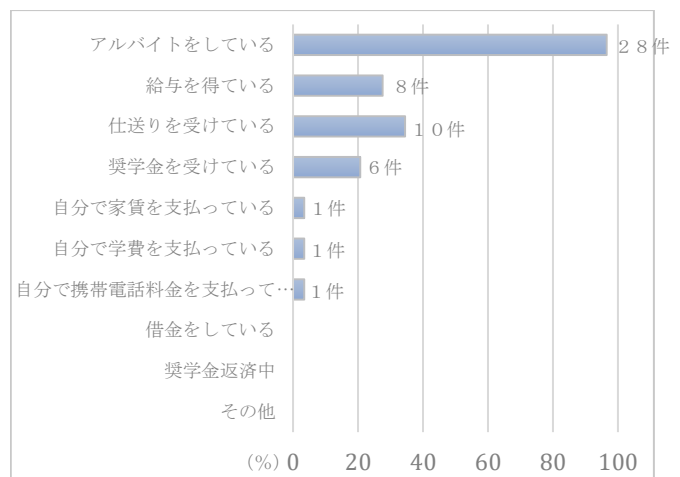
■ 居住形態

回答	件数	割合
実家で親と同居	17件	59%
ひとり暮らし	11件	38%
家族（夫婦・子ども）	1件	3%



2. 経済状況（複数回答）

回答	件数	割合
アルバイトをしている	28件	97%
給与を得ている	8件	28%
仕送りを受けている	10件	34%
奨学金を受けている	6件	21%
自分で家賃を支払っている	1件	3%
自分で学費を支払っている	1件	3%
携帯電話料金を支払っている	1件	3%
奨学金返済中である	0件	0%
借金をしている	0件	0%
その他	0件	0%



ほぼ全員の方がアルバイトをしています。仕送り受給（34%）、給与収入（28%）、奨学金受給（21%）と収入源は多様です。一方、家賃・学費・携帯を自己負担しているのは各1名にとどまり、多くが家族の経済的支援を受けながら生活しています。

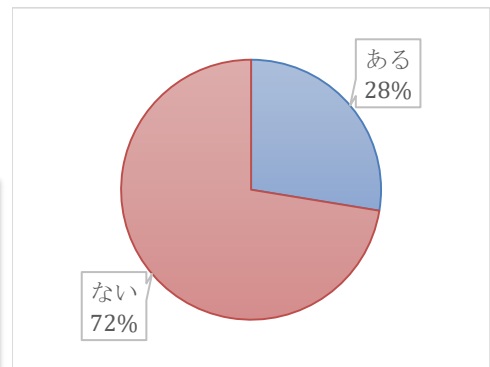
3. ストレス・不安と相談状況

■ 現在、強いストレスや不安を感じていることはありますか

回答	件数	割合
ある	8件	28%
ない	21件	72%

《理由》

就職のこと（6件）、学業のこと（4件）、友人関係（3件）、金銭関係（2件）、アルバイトのこと（2件）、家族関係（1件）、恋愛関係（1件）

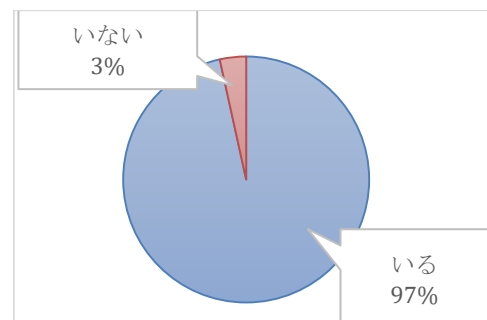


■ 悩みを相談できる人はいますか

回答	件数	割合
いる	28件	97%
いない	1件	3%

《内訳》

友人（22件）、家族（21人）、恋人（6件）、生成AI（5件）



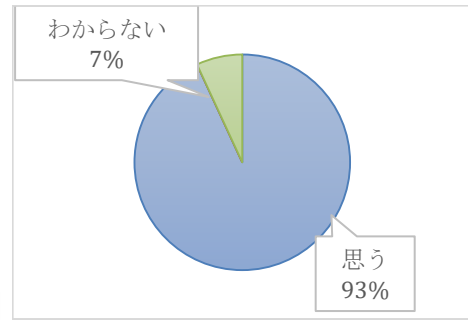
▶ ストレスを感じている8名のうち75%が「就職」を挙げており、将来への不安がストレス源となることがうかがえます。また、相談相手に「生成AI等」を選んだ約18%という数字は、デジタルネイティブ世代の新たな相談行動として注目されます。

2. 結婚・子どもに関する意向

■ 将来結婚したいと思いますか

回答	件数	割合
思う	27件	93%
思わない	0件	0%
わからない	2件	7%

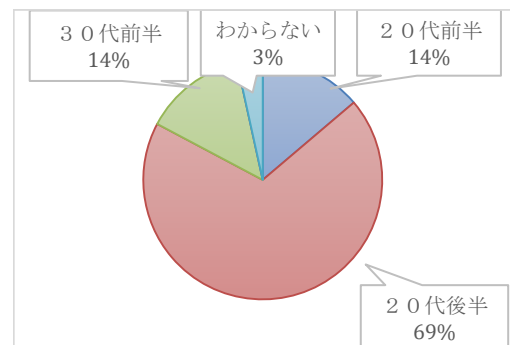
理由：考えたことがない。1人暮らしが性に合っている。



▷ 結婚の理想的な年齢とその理由

年代	件数	割合
20代前半	4件	14%
20代後半	20件	69%
30代前半	4件	14%
30代後半	0件	0%
わからない	1件	3%

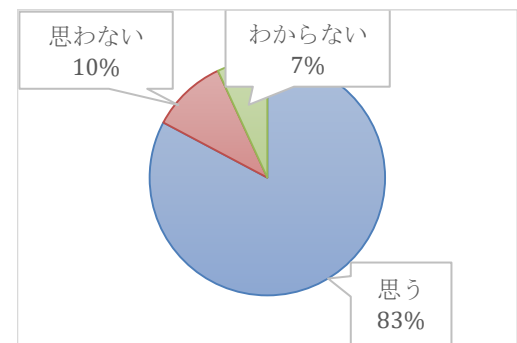
93%が「結婚したい」と回答。理想の時期は「20代後半」が69%と最多で、「20代のうちに」を理想とする割合が高いです。



■ 将来、子どもを持ちたいと思いますか

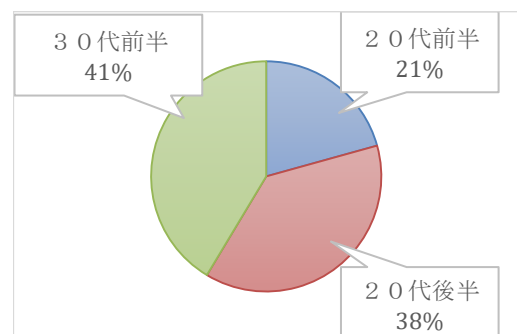
回答	件数	割合
思う	24件	83%
思わない	3件	10%
わからない	2件	7%

理由：考えたことがない。金銭的な面で不安があるから。
お金がない。将来の不安や経済的な不安があるから。



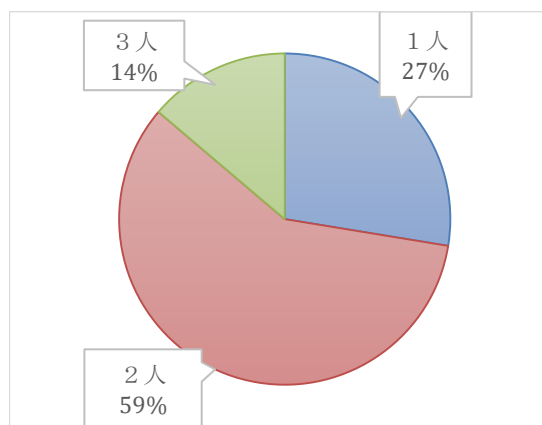
▷ 第1子を持つ理想的な年齢

年代	件数	割合
20代前半	6件	20.6%
20代後半	11件	37.9%
30代前半	12件	41.3%



▷理想的なこどもの人数とその理由

人数	件数	割合
1人	8件	27.6%
2人	17件	58.6%
3人	4件	13.8%

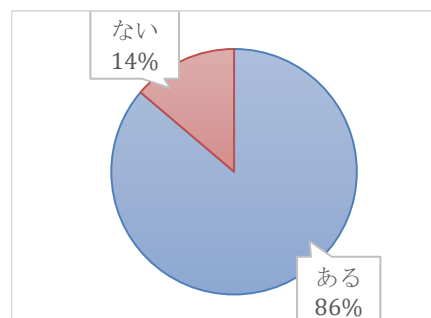


▶ 注目：将来、こどもを持ちたいかという質問に対し、「思わない」「わからない」と回答した方の理由として、経済的不安が多数挙がっています。「お金がない」「金銭的な面で不安」「将来の経済的不安があるから」など、結婚・出産の障壁として経済的課題が明確に認識されています。

2. 将来への不安

■ 将来に対して不安はありますか

回答	件数	割合
ある	25件	86%
ない	4件	14%



理由：就職や家族のこと。経済的に自立できるかどうか。子育てや養育にかかる費用を稼げるかどうか。結婚・出産・就職。結婚をしたいという思いはあるが、相手に巡り会うことができるのか。子供を望んでいるが、その時実際に望める環境にあるのか。社会問題が多く存在し、近い将来自分の子供の世代までも明るい未来が確約されていないこと。生活するのに十分なお金を稼げるのか。結婚できるかどうか。孤独死。安定した収入。老後の不安。結婚できるかどうか。森羅万象。お金。自由の制限。無事結婚して子供ができるのか。社会保障。働きながら子育てできるか。お金のこと。

3. 好きなまち・苦手なまちのイメージ

■ 好きなまちとその理由

都市名等	理由
名古屋	美味しいご飯が多い。街がコンパクトなので、機能性も高く、住みやすい
早稲田	飲食店の人が学生にフレンドリーで、話しかけてくれるから。学生に優しい値段のレストランやビリヤードなど娯楽が揃っているから。
茨城県ひたちなか市	自分が育った場所であり、自然と商業施設などのバランスが取れていて過ごしやすと感じるから。
中野区	人の温かさを感じられて都会過ぎないから。
和歌山県紀の川市	自然豊かで果物がおいしいから。
横浜市	買い物やレジャーなどの大半の用事が市内で完結するため、住みやすいと感じているから。
群馬県高崎市	生まれ育ったまちだから。
宮城県仙台市	旅行で訪れた際に素敵なまちだったから。程よい規模感の都市で、居心地がよい。牛タンが美味しい。
空気が美味しいまち	—
長崎	うまれそだったから
いい具合に都会で田舎な街	利便性と住みやすさを兼ね備えているから。
程よく郊外の街	利便性を担保しつつ、都会の喧騒から逃れられるから
ひたちなか市	地元だから
吉祥寺	都会すぎず、いろいろな施設がある。それに公園が多く、憩いの場所があるから。
市川	駅周辺は栄えていながらも、落ち着いた雰囲気が感じられる。
大洲	歴史的な街並みが好きだから。
京都	日本らしさがあるとことと、落ち着いた街並みが魅力的だから。
京都市	古い街並みが好みなため。
ちょうどいい街	子育て支援が充実している 親の負担はないような支援をしている
地元 稲城市	自然など景観がよく、治安もよい。 人口も10万に満たないくらいで過ごしやすい。
藤沢、鎌倉	海があり、歴史的な文化財などの街並みが綺麗だから

■ 苦手なまちとその理由

都市名等	理由
新宿	治安の悪さを感じるから。
池袋	場所にもよるが、売春など倫理的、社会的に良くない事が横行していて、商業的要素が強すぎるように感じるから。
新宿、池袋、渋谷	人が多く雑多で汚いイメージがあるから。
渋谷	過度な人の量
東京 23 区全域	道が狭く、運転がしにくいため。
群馬県大泉町	海外の方ばかり！！
人が多くいるまち	ー
しづや	いそがしくて人に関心がなくてさみしいから
田舎すぎる街、都会すぎる街	利便性がなかったり、住みにくかったりするから。
都会のど真ん中	疲れる
梅田	治安が悪い、駅がわかりにくい
渋谷	人が多い、臭い。
大阪	繁華街でコテコテの関西弁で話しかけられたり、賑わってテンション高めだったりする感じが肌に合わないから。
行政が全て自分たちで行う	全て任せてしまうと偏った政策になってしまうからである
東京 23 区	人混みが苦手なため。
新宿	人の多さや息苦しさを感じるから

好きなまちの傾向として「程よい都市規模」「自然と便利さの共存」「人の温かさ」が共通キーワードとして挙がりました。苦手なまちは三大副都心（新宿・渋谷・池袋）を中心とした過度な人口密集地が多数で、「孤独感」「治安」「雑多感」が忌避の主な理由です。

4. 行政が行う意見聴取の手法・社会への意見

■ 若者の意見を集めるための効果的だと考える手法

- ・ お祭りなど地域のイベントを若者と一緒に運営する仕組みを作り、その準備期間で関係性を築いてから話を聞くようにするとより正直な意見が聞けるのではないかと思います。
- ・ アンケートを実施して、答えてくれた人に対しては市内で使える商品券を配るなどのインセンティブをつける。
- ・ 聞き取り調査。議会への参加。学校訪問。
- ・ 裁判員制度のように市民から抜粋して協議会や委員会に参加することができるような制度
- ・ ワークショップの開催。年代別に開催するとよいかも。

■ その他、社会全体に対する意見

- ・ こんな時期に選挙をするべきではないと思います？（令和8年2月実施のアンケート調査より）

・税金諸々を下げて欲しい。

5. まとめと考察

本アンケートには18～22歳の大学生29名（男性15名・女性14名）が回答しました。全員が大学生であり、実家暮らし59%と一人暮らし38%が混在する中、97%がアルバイトを行っており、アルバイトと学業を両立しながら生活している方が多いです。

将来の結婚意向は93%、子どもを持つ意向は83%と高く、若者世代の家族形成への前向きな姿勢が確認されました。理想の結婚時期は「20代後半」が69%と最多で、理想の子ども数は「2人」が59%です。

しかし、将来、子どもを持ちたいかという質問に対し、「思わない・わからない」と答えた層の理由は経済的不安に集中しており、実際の行動につながるには経済的支援が不可欠であることが示されました。

将来不安は86%が「ある」と回答し、その内容は就職・収入・子育て費用・老後・社会保障など経済面が中心です。ストレスの最大要因も「就職」（ストレスあり層の75%）であり、就職・キャリア形成への不安が現役大学生の最大の課題となっています。

相談相手に「生成AI等」を挙げた回答者が18%存在しました。デジタルネイティブ世代の相談行動の変化として受け止め、行政の相談窓口等のあり方にも検討が必要であると考えます。

好きなまちの条件として「程よい都市規模」「自然と利便性の共存」「人の温かさ」が挙がっており、茅ヶ崎市はこれらの条件を満たしやすい環境にあります。若者の声を活かしたまちづくりに向けては、ワークショップ・学校訪問・インセンティブ付きアンケートなど能動的な意見収集手法の導入が提言されました。

以上

あなたが市長になったらやりたいこと
～令和7(2025)年度にいただいた提案～



こどもまちプロジェクト2025-2029の概要版（こども版）では、「あなたが市長になったらやりたいこと」を随時、募集しています。令和7(2025)年度に寄せられたご意見を紹介します。



学年	市長になったらやりたいこと
中学3年生	茅ヶ崎市のお金を増やす。カジノで
中学3年生	ゴミ箱の設置
中学2年生	夜のためにライト増やす
中学2年生	公園でボール遊びをOKにする
中学2年生	ゴミ箱をもっと増やす！
中学1年生	サッカー場を作るでかいの
中学2年生	コンビニを増やす
中学1年生	湘南ベルマーレの新スタジアムを作りたい

令和7(2025)年度は、8件のご意見をいただきました。
ありがとうございました。❤️

意見はいつでもこちらから
送ることができます 🐦



意見申請フォーム